

**令和元年度
福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の
点検・評価報告書**

令和3年3月

福井市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価方法等	2
3	令和元年度 福井市教育委員会の活動状況	
(1)	福井市教育委員会委員の構成	3
(2)	教育委員会の開催状況	3
(3)	教育委員会審議案件	4
(4)	教育委員の活動状況	7
4	令和元年度 各種審議会等審議状況	11
5	令和元年度 教育に関する事務の管理及び執行状況	14
6	学識経験者の知見	63

1 はじめに

本報告書「令和元年度福井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」(以下、「点検・評価報告書」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和元年度の福井市教育振興基本計画の成果報告とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価方法等

(1) 対象期間

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）

(2) 点検・評価方法

点検・評価報告書案の作成

- ・教育委員会において点検・評価報告書案を作成

点検・評価報告書の確認・審査意見

- ・学識経験者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

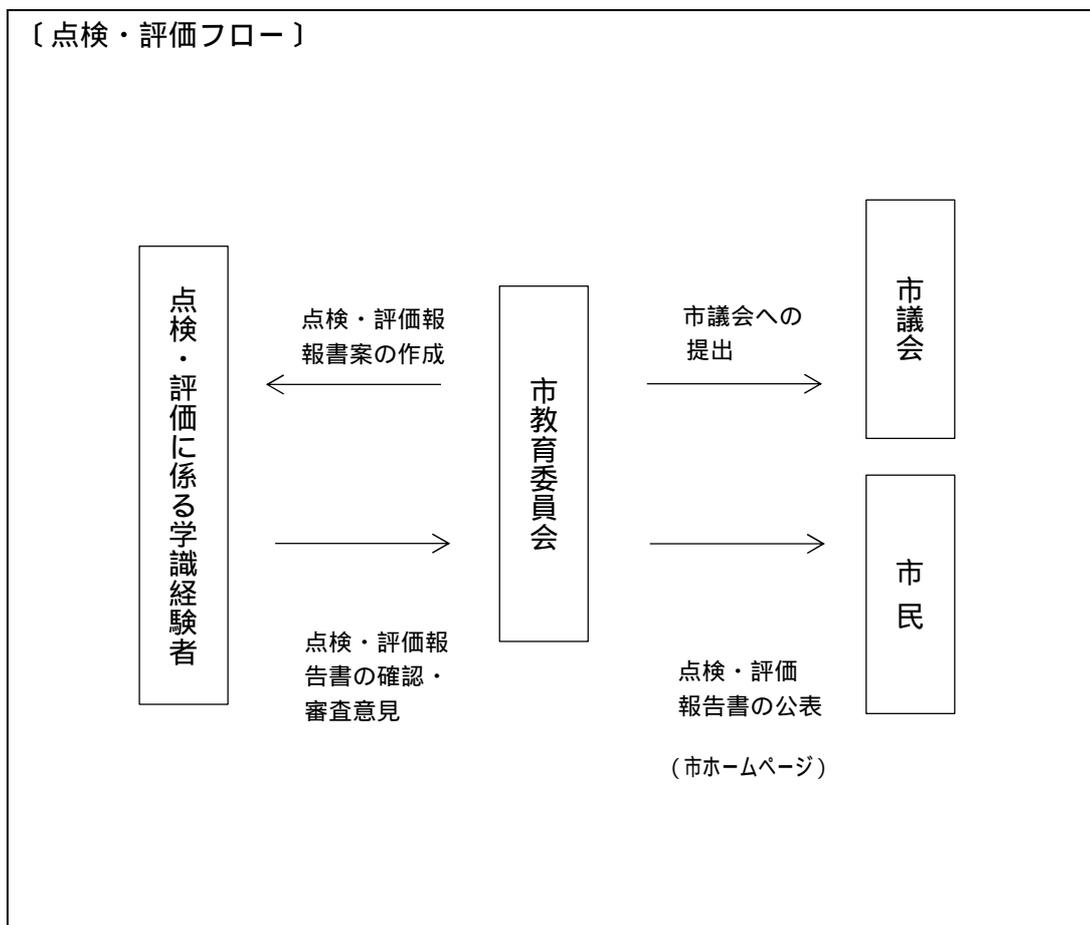
市議会への提出

- ・点検・評価報告書を市議会に提出

点検・評価報告書の公表

- ・点検・評価報告書を市のホームページにおいて公表

〔点検・評価フロー〕



3 令和元年度 福井市教育委員会の活動状況

(1) 福井市教育委員会委員の構成 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

職名	氏名	任期	職業等
教育長	吉川 雄二	平成29年6月27日～ 令和2年6月26日	元教員
教育長 職務代理者	佐藤 藤枝	平成27年12月18日～ 令和元年12月17日	元公民館主事
委員	木村 敦子	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日	看護師 (保護者)
委員 令和元年12月18 日より教育長職務 代理者	春木 伸一	平成28年12月22日～ 令和2年12月21日	医師
委員	多田 和博	平成29年12月24日～ 令和3年12月23日	会社役員
委員	宮郷 美千代	令和元年12月18日～ 令和5年12月17日	団体職員 (保護者)

(2) 教育委員会の開催状況

委員会	開催日	請願件数	議案件数	報告件数
平成31年4月定例会	4月 8日	0	1	2
令和元年5月定例会	5月 21日	1	6	1
6月定例会	6月 14日	0	9	0
7月定例会	7月 24日	0	4	6
8月定例会	8月 29日	0	3	2
9月定例会	9月 25日	0	1	0
10月定例会	10月 30日	0	4	0
11月定例会	11月 29日	0	0	0
12月定例会	12月 23日	0	0	0
令和2年1月定例会	1月 30日	0	7	0
2月定例会	2月 17日	0	3	0
3月定例会	3月 27日	0	10	1
計		1	48	12

(3) 教育委員会審議案件

開催日	内 容	
平成 31 年 4 月 8 日 (定例)	第 1 号議案	市指定文化財の指定解除について
	第 1 号報告	専決処分（福井市結核対策委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて
	第 2 号報告	専決処分（社会教育指導員の委嘱）の承認を求めることについて
令和元年 5 月 21 日 (定例)	請願第 1 号	『『指導死問題』の策定と実効ある施策』・『校長経験者逝去後の自動的叙勲の慣例廃止(非違行為などの厳正なる選任)』を求める請願書について
	第 2 号議案	市議会定例会提出議案（専決処分の報告について）に同意することについて
	第 3 号議案	市議会定例会提出議案（工事請負契約の締結について）に同意することについて
	第 4 号議案	市議会定例会提出議案（令和元年度福井市一般会計補正予算）に同意することについて
	第 5 号議案	令和 2 年度使用福井県義務教育諸学校教科用図書採択福井・高志地区協議会の設置について
	第 6 号議案	市議会定例会提出議案（福井市体育施設条例の一部改正について）に同意することについて
	第 7 号議案 第 3 号報告	市指定文化財の指定について 専決処分（福井市学校体育施設開放運営委員会委員及び福井市学校体育施設開放管理員の委嘱）の承認を求めることについて
令和元年 6 月 14 日 (定例)	第 8 号議案	福井市情報公開条例施行規則の一部改正について
	第 9 号議案	福井市学校給食運営委員会委員の委嘱について
	第 10 号議案	福井市社会教育委員の委嘱について
	第 11 号議案	福井市木ごころ文化ホールの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	第 12 号議案	福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について
	第 13 号議案	福井市少年自然の家運営協議会委員の委嘱について
	第 14 号議案	福井市自然史博物館運営協議会委員の委嘱について
	第 15 号議案	福井市美術館運営協議会委員の委嘱について
	第 16 号議案	福井市立郷土歴史博物館運営協議会委員の委嘱について
令和元年 7 月 24 日 (定例)	第 17 号議案	福井市教育委員会会議規則の一部改正について
	第 18 号議案	福井市通学区域審議会委員の委嘱について
	第 19 号議案	福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第 20 号議案	福井市文化的景観保存活用計画策定委員の委嘱について
	第 4 号報告	専決処分（福井市教育委員会行政組織規則の一部改正）の承認

	<p>第 5 号報告 を求めることについて 専決処分（福井市教育委員会職務権限規程の一部改正）の承認を 求めることについて</p> <p>第 6 号報告 専決処分（福井市教育委員会文書管理規程の一部改正）の承認 を 求めることについて</p> <p>第 7 号報告 専決処分（福井市教育委員会公印規則の一部改正）の承認を 求 めることについて</p> <p>第 8 号報告 専決処分（福井市学校給食運営委員会委員の委嘱）の承認を 求 めることについて</p> <p>第 9 号報告 専決処分（福井市結核対策委員会委員の委嘱）の承認を 求 めることについて</p>
令和元年 8 月 29 日 (定例)	<p>第 21 号議案 市議会定例会提出議案（令和元年度福井市一般会計補正予算） に 意することについて</p> <p>第 22 号議案 令和 2 年度使用小中学校教科用図書の新採択について</p> <p>第 23 号議案 福井市体育施設の管理運営に関する規則の一部改正について</p> <p>第 10 号報告 専決処分（福井市少年自然の家運営協議会委員の委嘱）の承認 を 求めることについて</p> <p>第 11 号報告 専決処分（福井市図書館協議会委員の委嘱）の承認を 求 めることについて</p>
令和元年 9 月 25 日 (定例)	<p>第 24 号議案 福井市社会教育功労者表彰について</p>
令和元年 10 月 30 日 (定例)	<p>第 25 号議案 福井市立学校施設使用規則の一部改正について</p> <p>第 26 号議案 福井市立学校屋外運動場の夜間使用に関する規則の一部改正に つ いて</p> <p>第 27 号議案 市議会定例会提出議案（福井市中藤屋内運動場等の指定管理者 の 指定について）に同意することについて</p> <p>第 28 号議案 市議会定例会提出議案（福井市体育施設条例の一部改正につ い て）に同意することについて</p>
令和 2 年 1 月 30 日 (定例)	<p>第 29 号議案 市議会定例会提出議案（専決処分の報告について）に同意す る ことについて</p> <p>第 30 号議案 市議会定例会提出議案（工事請負契約の締結について）に同意 す ることについて</p> <p>第 31 号議案 市議会定例会提出議案（福井市認定こども園設置条例の一部改 正 について）に同意することについて</p> <p>第 32 号議案 市議会定例会提出議案（福井市放課後児童健全育成事業の設備 及 び運営に関する基準を定める条例の一部改正について）に同意 す ることについて</p>

	<p>第 33 号議案 学校嘱託医の退職に伴う感謝状贈呈について</p> <p>第 34 号議案 市議会定例会提出議案（福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の全部改正について）に同意することについて</p> <p>第 35 号議案 福井市スポーツ推進計画の改訂について</p>
<p>令和 2 年 2 月 17 日 (定例)</p>	<p>第 36 号議案 市議会定例会提出議案（令和元年度福井市一般会計補正予算）に同意することについて</p> <p>第 37 号議案 市議会定例会提出議案（令和 2 年度福井市一般会計当初予算）に同意することについて</p> <p>第 38 号議案 市議会定例会提出議案（福井市公民館設置に関する条例の一部改正について）に同意することについて</p>
<p>令和 2 年 3 月 27 日 (定例)</p>	<p>第 39 号議案 福井市教育委員会辞令式に関する規程の一部改正について</p> <p>第 40 号議案 福井市学校管理規則の一部改正について</p> <p>第 41 号議案 福井市立幼稚園管理規則の一部改正について</p> <p>第 42 号議案 福井市新学校給食センター等整備計画の策定について</p> <p>第 43 号議案 福井市公民館管理運営に関する規則の一部改正について</p> <p>第 44 号議案 福井市社会教育指導員設置等に関する規則の廃止について</p> <p>第 45 号議案 福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例施行規則の全部改正について</p> <p>第 46 号議案 福井市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>第 47 号議案 福井市立学校体育施設の開放に関する規則の一部改正について</p> <p>第 48 号議案 「越前海岸の水仙畑と農村景観」重要文化的景観の選定に係る保存活用計画の策定について</p> <p>第 12 号報告 専決処分（令和元年度福井市一般会計補正予算の市議会定例会への提出について）の承認を求めることについて</p>

(4) 教育委員の活動状況

平成 31 年	教育委員会事務局辞令交付式	吉川教育長
4 月 1 日	教育委員会辞令交付式 (専従補導員・専従カウンセラー)	吉川教育長
4 月 2 日	新採用校長・教頭挨拶式	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
	新任教職員着任式	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
	社会教育指導員委嘱状交付式	吉川教育長
	公民館主事委嘱状交付式	吉川教育長
4 月 3 日	公民館館長委嘱状交付式	吉川教育長
	4 月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
4 月 9 日	酒生小学校入学式	吉川教育長
	清水東小学校入学式	佐藤委員
	日之出小学校入学式	木村委員
	西藤島小学校入学式	春木委員
	河合小学校入学式	多田委員
4 月 11 日	全国都市教育長協議会理事会	吉川教育長
4 月 12 日	全国市町村教育委員会連合会理事会	吉川教育長
4 月 17 日	福井県都市教育長協議会定期総会	吉川教育長
4 月 24 日	平成 30 年度末退職教職員感謝状贈呈式	吉川教育長・佐藤委員・木村委員
	福井市公民館連絡協議会総会	吉川教育長
4 月 25 日 26 日	東海北陸都市教育長協議会定期総会	吉川教育長
令和元年 5 月 10 日	福井市スポーツ少年団結団式	吉川教育長
5 月 11 日	青少年育成福井市民会議総会	吉川教育長
5 月 12 日	国見公民館竣工式	吉川教育長
5 月 13 日	福井県市町教育委員会連絡協議会定期総会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
5 月 14 日	市民憲章推進協議会常任委員会	吉川教育長
5 月 15 日	あすの福井県を創る協会理事会	吉川教育長
5 月 18 日	福井市 P T A 連合会総会	吉川教育長
5 月 21 日	5 月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員

			・春木委員・多田委員
5月	22日	全国都市教育長協議会理事会	吉川教育長
5月	23日 24日	全国都市教育長協議会定期総会	吉川教育長
5月	25日	福井市公民館運営審議会連絡会総会	吉川教育長
5月	29日	あすの福井県を創る協会総会	吉川教育長
6月	1日	不死鳥のねがい推進協議会総会	吉川教育長
6月	7日	福井県市町女性教育委員の会総会	佐藤委員・木村委員
6月	8日	福井県幼・小・中PTA地区別研修会	吉川教育長
		第70回市民スポーツ大会総合開会式	吉川教育長
6月	13日	第67回福井市中学校連合音楽会	吉川教育長・佐藤委員・春木委員・多田委員
6月	14日	6月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
		第67回福井市中学校連合音楽会	佐藤委員・木村委員
6月	19日	学校訪問（越廼小学校）	木村委員
6月	20日	第61回福井市小学校連合音楽会	佐藤委員・木村委員
6月	21日	第61回福井市小学校連合音楽会	吉川教育長・佐藤委員
6月	22日	北陸地区スポーツ推進委員研修会情報交換会	吉川教育長
6月	25日	朝倉ゆめまるランチ事業	木村委員・春木委員・多田委員
6月	26日	学校訪問（酒生小学校）	佐藤委員・木村委員
6月	27日	学校訪問（殿下小中学校）	佐藤委員
		朝倉ゆめまるランチ事業	佐藤委員
7月	2日	学校訪問（西藤島小学校）	多田委員
7月	4日	学校訪問（下宇坂小学校）	佐藤委員
7月	10日	学校訪問（豊小学校）	木村委員・多田委員
		順化小学校・公民館一期工事内覧	吉川教育長・佐藤委員・木村委員
7月	24日	7月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
7月	26日	第1回社会教育委員の会議	吉川教育長
7月	27日	順化地区 お堀の灯り	吉川教育長
7月	29日	福井県都市教育長協議会研修会	吉川教育長
8月	29日	8月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員

		・春木委員・多田委員
9月 1日	県スポーツ少年総合開会式	吉川教育長
9月 14日	清水南地区民体育大会	吉川教育長
9月 19日	福井市小学校連合体育大会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員
9月 24日	福井市スポーツ推進審議会（委嘱状交付）	吉川教育長
9月 25日	9月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
10月 7日	橋本左内先生墓前祭	吉川教育長
10月 18日	福井市青少年問題協議会	吉川教育長
10月 21日	教育長と語る会 （福井市子ども会育成連合会）	吉川教育長
	福井市社会教育功労者表彰式	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
10月 28日 29日	福井県市町教育長研修会	吉川教育長
10月 30日	10月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
10月 31日	市公連・運審連からの要望書受取	吉川教育長
11月 3日	「家族ふれあい絵手紙コンクール」優秀作品表彰式	吉川教育長
	福井市民文化祭開場式	吉川教育長
	福井市民文化祭芸能部門開会式	吉川教育長
11月 7日	全国都市教育長協議会理事会	吉川教育長
	福井県女性教育委員の会研修会	佐藤委員・木村委員
11月 10日	福井市公民館地区対抗囲碁大会	吉川教育長
11月 14日	東海北陸都市教育長協議会役員会	吉川教育長
11月 19日	森田公民館からの要望書受取	吉川教育長
11月 20日	市公連・運審連合同 市長と語る会	吉川教育長
11月 21日	朝倉ゆめまるランチ事業	吉川教育長
11月 28日	第2回社会教育委員の会議	吉川教育長
11月 29日	11月定例教育委員会	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
12月 6日	全日本レディースバトミントン競技大会 開会式	吉川教育長

12月 12日 13日	教育委員行政視察	吉川教育長・佐藤委員・木村委員 ・春木委員・多田委員
12月 19日	福井市公民館研究集会	吉川教育長
12月 23日	12月定例教育委員会	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
令和2年 1月 4日	三世代交流事始め	吉川教育長
1月 10日	福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業歓迎式	吉川教育長
1月 11日	「第21回福井市・吉田郡中学校美術科作品かんじて・み・よさ展」開場式	吉川教育長
1月 12日	成人式	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
1月 13日	市連婦新年のつどい	吉川教育長
1月 14日	不死鳥友の会新年のつどい	吉川教育長
1月 25日	福井市PTA連合会研究大会	吉川教育長
1月 27日	県文化協議会「新春の集い」	吉川教育長（市長代理）
1月 30日	市PTA連合会市長・教育長と語る会	吉川教育長
	1月定例教育委員会	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
2月 6日	市スポーツ協会70周年記念祝賀会	吉川教育長
2月 7日	福井市公民館館長会議	吉川教育長
2月 10日	市公連・運審連市長と語る会	吉川教育長
2月 13日	立志式（成和中学校）	春木委員
2月 17日	2月定例教育委員会	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
2月 21日	市民憲章推進協議会 常任委員会	吉川教育長
3月 13日	令和元年度第1回福井市総合教育会議	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
3月 27日	3月定例教育委員会	吉川教育長・春木委員・木村委員 ・多田委員・宮郷委員
3月 31日	教育委員会事務局辞令交付式	吉川教育長

4 令和元年度各種審議会等審議状況

審議会の名称 (担当所属)	委員 数	会議 開催 数	件名	種別	年月日
福井市学校不適応対 策推進会議 (学校教育課)	12	3	・福井市適応指導教室「チャレン ジ教室」の活動全般に対する支 援について	審議	令和元年 8月 8日 令和元年 12月 25日 令和2年 2月 26日
福井市教育支援委員会 (学校教育課)	35	8	・特別支援学級及び県立特別支援 学校就学該当者の判断について	審議	平成31年 4月 23日 令和元年 5月 16日 令和元年 7月 1日 令和元年 7月 22日 令和元年 7月 30日 令和元年 9月 17日 令和元年 12月 12日 令和元年 12月 13日
福井市学校規模適正 化検討委員会 (学校教育課)	9	3	・福井市の学校規模の適正化につ いて、検討が必要な地域、適正 化の方向性と方法について	審議	令和元年 7月 26日 令和元年 9月 17日 令和2年 2月 20日
福井市学校給食運営 委員会 (保健給食課)	14	3	・学校給食の実施状況について ・新学校給食センターについて ・明新小、和田小の調理等業務委 託について ・「新学校給食センター等整備基本 計画」の策定について	審議 報告 (書面)	令和元年 7月 25日 令和2年 1月 23日 令和2年 3月 31日
福井市結核対策委員会 (保健給食課)	7	1	・結核健診実施状況について ・結核健診における要検討者につ いて	審議	令和元年 6月 26日
福井市少年愛護セン ター運営委員会 (青少年課)	15	1	・福井市少年愛護センターの概要 と事業内容について	審議	令和元年 7月 24日
福井市少年自然の家 運営協議会 (少年自然の家)	8	1	・福井市少年自然の家の事業概要 について	審議	令和元年 8月 1日
福井市青少年問題協 議会 (青少年課)	12	1	・インターネット利用における子 どもの犯罪被害防止について	審議	令和元年 10月 18日
福井市スポーツ推進 審議会 (スポーツ課)	14	2	・福井市スポーツ推進計画の改訂 (素案)について ・福井市スポーツ推進計画の改訂 (案)について	審議	令和元年 9月 24日 令和2年 1月 21日
福井市文化奨励賞選 考委員会 (文化振興課)	7	1	・福井市文化奨励賞選考委員会	選考	令和元年 9月 24日

福井市文化財保護委員会 (文化財保護課)	10	1	(協議) 1「市指定文化財候補 大安寺観音堂」 「市指定文化財候補 高雄神社石造物一群」について (報告) 1ケヤキ、クスノキの市指定について 2 青木蘭麿堂建造物の国登録有形文化財への登録について 3 文化的景観「越前海岸の水仙畑」保存活用計画策定事業について 4 日本遺産の認定について (現地視察) 1 大安寺観音堂、高雄神社石造物一群 (書面報告) 1 大安寺観音堂について 2 西藤島観音堂について 3 高雄神社石造物一群について 4 青木蘭麿堂建造物の国登録有形文化財への登録について 5 文化的景観「越前海岸の水仙畑」保存活用計画策定事業 6 法雲寺本堂・鐘楼修理事業 7 令和2年度文化財保護事業計画について	協議報告	令和元年 8月28日
			報告	令和2年 3月19日	
福井市自然史博物館運営協議会 (自然史博物館)	10	2	【第1回】 1 自然史博物館の運営について 2 セーレンプラネット(分館)の運営について 3 その他 【第2回】 1 自然史博物館の経過報告と事業計画について 2 セーレンプラネット(分館)の経過報告と事業計画について 3 その他	協議	令和元年 8月29日
			協議	令和2年 3月14日	
福井市美術館運営協議会 (美術館)	8	2	【第1回】 1 令和元年度前期(4月~9月)事業報告について 2 令和元年度後期(10月~3月)事業予定について 【第2回】 1 令和元年度後期(10月~3月)事業報告について 2 令和2年度年間事業計画(案)について	協議	令和元年 10月24日
			協議	令和2年 3月19日	

福井市立郷土歴史博物館運営協議会 (郷土歴史博物館)	8	2	【第1回】 1 消費税増税に伴う観覧料の改正について 2 平成30年度寄贈・寄託資料について 3 令和元年度の事業について	審議	令和元年 8月20日
			【第2回】 1 令和元年度下半期の事業について 2 令和2年度の事業について	審議	令和2年 2月4日
福井市図書館協議会 (図書館・みどり図書館・桜木図書館)	9	2	【第1回】 1 図書館の利用状況について 2 図書館の行事について 3 令和元年度部局マネジメント方針について 4 福井市立図書館リニューアル事業基本計画について	協議報告	平成元年 8月19日
			【第2回】 1 図書館の利用状況について 2 令和元年度図書館の行事報告について 3 令和2年度予算(案)について 4 令和2年度図書館の行事予定について 5 令和2年度特別開館について	協議報告	令和2年 2月14日

- 備考 -

・担当所属は、令和2年4月1日現在のものを記載しています。

5 令和元年度 教育に関する事務の管理及び執行状況

ここでは、福井市教育振興基本計画の進行管理も兼ね、施策体系に沿った具体的な取組ごとの点検及び評価について掲載しています。

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	1	未来につなぐ特色ある学校づくりの推進
具体的な取組	(1)	特色ある学校づくり
	(2)	家庭・地域・学校協議会の設置と活用
	(3)	教育ウィークの推進
	(4)	地域活動への子どもたちの積極的な参加の推進
	(5)	福井の学校のあり方についての検討

成果指標に関して (総)...第七次福井市総合計画成果指標 (基)...教育振興基本計画成果指標 (部)...部局マネジメント方針(福井市総合計画に基づく単年度ごとの計画)

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標(上段)と実績(下段)			基本計画 達成目標	
				評価項目 設定なし		H29	H30	R1	R3
(1)	特色ある学校 づくり	学校教育 課	子どもたちの未来を切り拓く力を養い、教育実践の質を上げていくために以下のような視点から、一覧表をもとに、これからの地域との取組を吟味・精選しました。 学校内で議論し、地域との取組の目的や子どもに付けたい力と各教科や領域等の目標とのつながりを重視する。 中学校区で議論し、発達段階に応じた系統性のある学びとなるようにつながりを図る。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	家庭・地 域・学校協議 会の開催	学校教育 課	各小中学校において年に3回程度、家庭・地域・学校協議会を開催し、教育活動について協議しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	教育ウィー ク開催	学校教育 課	10月から12月にかけて全ての小中学校で実施した「教育ウィーク」に併せ、各学校にポスターを掲示したり、本市のホームページで一覧表を公開したりするなど、市民への周知・広報を行いました。 十年以上継続してきた教育ウィークは、今後も充実を図りながら継続していきます。	(基)教育ウィークの 開催学校数 基準値(H27):全小中 学校(1週間)	目標	全小中学校 (1週間)	全小中学校 (1週間)	全小中学校 (1週間)	全小中学校 (1週間)
					実績	全小中学校 (1週間)	全小中学校 (1週間)	全小中学校 (1週間)	-
					達成度	100%	100%	100%	-

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(4)	地域活動への 子どもたちの 積極的な参加 の推進	学校教 育課	地域で行われる活動について、地域と関わる取組一覧表に位置付けながら、学年が上がるにつれて、参加から参画型になるように、育てたい子どもの姿を地域と共有しながら取り組みました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(5)	福井の学校の あり方につい ての検討	学校教 育課	本市の学校規模の適正化について、検討が必要な地域や適正化の方向性を福井市学校規模適正化検討委員会において検討、協議しました。（3回開催）	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	2	学力充実のための教育活動
具体的な取組	(1)	福井市学力・学習状況調査研究委員会の設置
	(2)	積極的な授業公開と研究会の実施
	(3)	読書活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標 R3
				評価項目		H29	H30	R1	
(1)	全国学力・学習状況調査研究委員会の開催	学校教育課	<p>授業や指導の改善に役立てるため、市小中学生の全国学力・学習状況調査結果を分析して、成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめ、9月上旬に全小中学校の教員向けに配付しました。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査結果をホームページで公表し、学校と家庭や地域がそれぞれの成果と課題を把握して具体的な改善に努められるよう働きかけ、更なる学力向上や円滑な学校運営が進められるようにしました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	授業公開の実施	学校教育課	<p>他校（園を含む）への授業公開や出前授業の実践では、指導主事訪問の授業公開日等と同じ中学校区で行われる授業公開を、同学年の教員が参観したり授業研究を行ったりするなど、積極的に取り組みました。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、2～3月に予定していたほとんどが中止となり、数値目標を達成できませんでした。</p>	(部)他校（園を含む）への授業公開や出前授業の実践（全小中学校1校当たり回数）	目標	5回	5回	6回	-
					実績	5回	6回	5回	-
					達成度	100%	120%	83%	-
	研究会の実施	学校教育課	各中学校区では、これまでの中学校区教育を土台にして、園小中の円滑な移行のために交流授業や合同研修会等を実施し、学びの一貫性への取組が充実しました。	(部)中学校区単位での研究会・研修会（全小中学校1校当たり回数）	目標	3回	3回	12回	-
					実績	3回	12回	12回	-
					達成度	100%	400%	100%	-

(3)	学校図書館支援員の配置	学校教育課	全小中学校に学校司書を配置し、読書環境づくりや児童生徒の読書推進に努め、学校図書館の一層の充実を図りました。 名称を令和元年度より学校図書館支援員から学校司書に改めました。	(基)(部)学校図書館支援員が配置されている学校数 基準値(H27)：全小中学校	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-
	学校図書整備事業	学校教育課	文部科学省が設定する「学校図書館図書標準」の蔵書冊数に達するよう、図書の整備を行いました。小、中学校ともに市全体としては、学校図書館図書標準が100%を達成しました。今後は、改訂された教科書の内容等に応じて、継続的・計画的に整備を行い、基準冊数の維持に努めます。	(部)小中学校の学校図書館図書標準	目標	小学校 100% 中学校 88.0%	小学校 100% 中学校 97.0%	小学校 100% 中学校 100%	-
					実績	小学校 100% 中学校 93.4%	小学校 100% 中学校 98.7%	小学校 100% 中学校 100%	-
					達成度	106.1%	101.7%	100%	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	3	豊かな心の教育の推進
具体的な取組	(1)	道徳教育の推進
	(2)	人権教育の推進
	(3)	道徳的実践の場としての体験活動の充実
	(4)	芸術・文化体験の充実
	(5)	環境教育の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目 設定なし	H29	H30	R1	R3	
(1)	道徳教育の推進	学校教育課	道徳が教科となり、学校訪問では道徳科の授業公開が多く見られました。また、学校からの要請訪問による道徳研修も行い、教職員の道徳授業に対する意識を高めることができました。また、6つの小中学校が「親子で学ぶ道徳講座」を実施しました。各校が工夫して保護者・地域参加型の道徳授業等を行い、道徳教育の質の向上と充実を図ることができました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	人権教育の推進	学校教育課	いじめや差別のない学校にするために、各学校では年度初めに人権教育推進計画の作成を依頼し、正しい人権感覚を身に付け、思いやりの心を持って行動できる児童生徒を育てる人権教育を計画的に取り組むよう呼びかけることができました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	道徳的実践の場としての体験活動の充実	学校教育課	各学校で、人や自然とふれあいながら豊かな心を育てる場として、集団宿泊体験学習や田植え、稲刈り等の自然体験活動を実施しました。子どもたちが体験活動を通して、仲間や地域の方々と交流する場面が見られました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

(4)	芸術・文化体験の充実	学校教育課	福井市と友好都市関係を結んでいる中の5つの都市の小中学生との作品交流を行い、福井市小中学生国際交流作品展を開催しました。約4,300点の作品を展示し、友好の輪を広げるとともに、福井市の小中学生の創造活動の振興をはかることができました。7日間で福井市民8,500名の参観を得て、国際理解・国際親善を深め、文化交流の推進を進めることができました。	(基)国際交流作品展の開催日数	目標	7日間	7日間	7日間	7日間
				基準値(H27):7日間	実績	7日間	7日間	7日間	-
				達成度	100%	100%	100%	-	
(5)	環境教育の推進	学校教育課	全幼小中学校で「ESD(持続可能な開発のための教育)」の視点を取り入れた「福井市環境学習プログラム」に取り組みました。各学校では、年度始めに作成した「実施計画」に基づいて、目標達成に向けて取組内容を見直しながら実践を進めました。訪問した学校では、授業、清掃、委員会、部活等の様々な場面で子どもの環境学習が取り組む姿が見られました。年度末には各学校が取組を「実施報告書」にまとめました。 来年度も引き続き、各学校において環境学習に取り組み、SDGsの取組へと発展させていきます。	(基)福井市環境学習プログラムの取組学校数	目標	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校
				基準値(H27):全幼小中学校	実績	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	-
				達成度	100%	100%	100%	-	

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	4	幼児教育の推進
具体的な取組	(1)	小学校との連携の強化
	(2)	保護者への支援
	(3)	わくわく交流デーの充実
	(4)	交流活動の推進
	(5)	認定こども園への移行の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	小学校との連携の強化	学校教育課	接続推進計画による連携交流の3回のうちの1回を、本市全体で行ったため、他小学校区での取組や先進校の取組を知る機会となり、各小学校区が取組を見直す視点をもちながら、年度後半の連携交流を進めることができました。	(基)保幼小接続カリキュラムの実施校数	目標	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
				基準値(H27)：全小学校	実績	全小学校	全小学校	全小学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(2)	保護者への支援	学校教育課	保護者と職員間で、園児の家庭での様子と園での様子を伝え合い、悩みを共有して一緒に考え取り組んでいます。 また、公民館と連携して子育て広場を開催したり、未就学児に園開放をしたりして、子育て中の地域の保護者の支援もしています。	設定なし	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	
(3)	わくわく交流デーの充実	学校教育課	全小学校で行われた新1年生の小学校1日体験「わくわく交流デー」でも、学校規模に合わせて、新1年生と園児と小学生が関わり合う活動を重視した取組が行われました。	(基)わくわく交流デーの開催数	目標	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
				基準値(H27)：全小学校	実績	大雪のため中止	全小学校	全小学校	-
					達成度	0%	100%	100%	-

(4)	交流活動の推進	学校教育課	<p>複数の公立こども園と公立幼稚園が合同で行う「交流保育」、複数の公立幼稚園で行う「なかよし交流保育」では、園児の交流だけでなく、職員が保育について学び合う機会となりました。また、交流当日の経験が、その後の各園での遊びともつながることで、普段の遊びもより充実しました。</p> <p>しかし、公立幼稚園と保育園が統合して開設されるこども園が増加し、廃園、休園による幼稚園数は減少しており、交流の形を検討しながら、交流活動を充実させていきます。</p>	<p>(基)夏と秋の交流保育の開催数</p> <p>基準値(H27):夏秋とも延べ3回</p>	目標	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回
					実績	夏秋とも延べ3回	年間を通して6回	年間を通して6回	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(5)	認定こども園への移行の推進	学校教育課	<p>平成28年度から、同地区にある公立幼稚園と公立保育園を統合して認定こども園への移行を進めてきており、平成31年度(令和元年度)に移行した東郷こども園と麻生津こども園を加えて、市内7園となりました。</p> <p>令和2年度は、美山啓明幼稚園とみやま保育園が統合してこども園がさらに1園増えます。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	5	特別支援教育の推進
具体的な取組	(1)	就学相談の充実
	(2)	個に応じた支援体制の充実
	(3)	一貫性のある支援体制の整備
	(4)	特別支援教育に関する研修の実施
	(5)	交流活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	就学相談の充実	学校教育課	教育支援委員会では、年2回（7月、8月）就学相談会（就学児相談会、既就学児童生徒相談会）を実施し、学校における支援や就学先に関する情報提供を保護者に行い、その後も継続的に保護者と相談を行うことで、就学先について合意形成を図りました。	(基)(部)教育支援委員会の開催数	目標	年8回	年8回	年8回	年7回
				基準値(H27)：年7回	実績	年8回	年8回	年8回	-
				達成度	100%	100%	100%	-	
(2)	いきいきサポーター配置事業	学校教育課	いきいきサポーターを85名配置し、通常学級で特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実を図りました。	(総)(基)いきいきサポーターの配置数	目標	78人	83人	84人	80人
				基準値(H27)：年69人	実績	83人	84人	85人	-
				達成度	106.4%	101.2%	101.2%	-	
(3)	一貫性のある支援体制の整備	学校教育課	特別支援コーディネーターを、全小中学校に配置しました。 また、園と小学校の連絡会、小中学校連絡会を実施し、円滑な移行支援を図りました。 特別支援教育専門委員会では本市の特別支援教育の課題について協議し、整理しました。今後も関係機関が連携した協議会や専門委員会を開催し、更なる特別支援教育の充実を図ります。	(部)特別支援教育コーディネーターの配置	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
				実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-	
				達成度	100%	100%	100%	-	
(4)	特別支援教育に関する研修の実施	学校教育課	市全域協議会を開催するとともに、外部機関との連携や校内支援体制についての研修及び協議を実施しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	

(5)	交流活動の推進	学校教育課	特別支援学級と通常学級の児童生徒の交流や共同学習は、設置校すべて実施されています。平成27年度から令和元年度にかけて全小中学校と特別支援学校との交流活動が実施されました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	6	気になる児童生徒への支援の充実
具体的な取組	(1)	いじめの未然防止の支援
	(2)	スクールソーシャルワーカーの配置
	(3)	不登校児童生徒への支援
	(4)	学校不適応対策事業推進会議の開催

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	いじめの未然防止の支援	学校教育課	学校と教育委員会との間で報告・連絡・相談を確実にし、気になる児童生徒に関する情報を共有し対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関と連携した支援を行いました。また「福井市いじめ防止基本方針」を保護者や地域にも周知するため、学校HP等への掲載を呼びかけ、いじめの未然防止に向けた取組を行いました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	スクールソーシャルワーカーの配置	学校教育課	学校からの申請に応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣しました。学校と連絡を取りながら、気になる児童生徒や家庭環境に働きかけを行い、本人や家族との生活環境を調整するなどしてきました。また、関係機関と情報共有や行動連携を行い、支援を行いました。毎月1回定例会を開き、情報を共有したり、各事例に対してお互いにアドバイスをしたりしています。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	不登校児童生徒への支援	学校教育課	小学校カウンセラーについては、各学校の児童数に応じて派遣しました。福井市適応指導教室「チャレンジ教室」にも週1回以上派遣し、通室生の相談にあたりました。 また、チャレンジ教室における保護者対象の親の会を年2回実施しました。	(基)スクールカウンセラーが配置されている学校数 (県のSCの配置で不十分な小学校に重点的にカウンセラーを配置。) 基準値(H27)：全小中学校	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-

(4)	学校不適応対策事業推進会議の開催	学校教育課	学校不適応対策推進会議を年3回実施しました。会議では、学校不適応児童生徒の理解や対応のため、「ケース会議の進め方」、「不登校が改善された事例について」を作成しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	7	グローバル化に対応した英語教育の推進
具体的な取組	(1) ALTによる授業の充実	
	(2) 中学生英語合宿(英語サマーキャンプ)の支援	
	(3) FCAによる国際理解教育の充実	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標(上段)と実績(下段)				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	英語活動推進 事業	学校教育 課	<p>小学校専属ALTを市内全小学校の3～6年の学級に派遣し、学級担任や教科担任を支援しました。また、ALTが研究授業や公開授業に関わることで、ALTとしての望ましい支援のあり方や本市の目指す英語教育を理解することができました。</p> <p>しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月3日より臨時休業措置がとられたことにより、目標訪問回数を達成することができませんでした。</p>	<p>(総)(基)ALTの年間派遣回数(1学級当たり)</p> <p>基準値(H27):5・6年 24回、3・4年 0回</p>	目標	24回	24回	5・6年 24回 3・4年 4回	5・6年 24回 3・4年 9回
					実績	24回	24回	5・6年 23回 3・4年 3回	-
					達成度	100%	100%	92%	-
(2)	中学生英語合宿(英語サマーキャンプ)の支援	学校教育 課	<p>中学生英語合宿(英語サマーキャンプ)を通じて、中学3年生が外国語指導助手と生活をともにし、外国の文化を理解したり、英語に親しんだりしながら、友情を育む体験活動を支援しました。</p>	(部)中学生英語合宿(英語サマーキャンプ)の支援回数	目標	2日	2日	2日	-
					実績	2日	2日	2日	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(3)	FCAによる国際理解教育の充実	学校教育 課	<p>平成29年度までは、国際室に所属するFCAが小学校を訪問することがありましたが、平成30年度からFCA4名のうち2名が学校教育課所属の小学校専属ALTとなり、FCAとしての小学校訪問はなくなりました。</p> <p>学校教育課を通して、公立幼稚園にFCAの訪問事業の案内を送付し、園からの訪問希望日の調査票を集約して国際室に送っています。</p>	(部)FCAの派遣回数(1学級当たり)	目標	5回以上	-	-	-
					実績	5回以上	-	-	-
					達成度	100%	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	8	教育の情報化の推進
具体的な取組	(1) 無線LANを活用できるネットワーク環境の整備	
	(2) グループウェアの活用	
	(3) ICTを活用した授業の実施	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標(上段)と実績(下段)				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	無線LANを活用できるネットワーク環境の整備	学校教育課	児童生徒が授業でインターネットを活用できるように、無線LAN環境を整備しています。令和元年度からは1人1台の端末導入に向けてネットワークの高速大容量化も合わせて実施しています。	普通教室における無線ネットワーク環境の整備	目標	-	中学校全普通教室接続	-	-
					実績	-	中学校全普通教室接続	-	-
					達成度	-	100%	-	-
(2)	グループウェアの活用	学校教育課	ICTを活用した業務改善に向けて、指導要録や通知表等の諸帳簿を効率よく作成するシステムを教員が開発し、その使い方の研修を令和元年度に引き続き実施しました。本市が導入している教育ネットワークとグループウェアは、業務になくはならないものになっています。今後、OJTをさらに進め、一層の効率化につなげていきます。	(部)グループウェアを活用した事務効率化のための研修	目標	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	-
					実績	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(3)	ICTを活用した授業の実施	学校教育課	令和2年度から実施の新学習指導要領に盛り込まれた小学校のプログラミング教育に向けて、小学校の教員に加え、アシスタントとして授業に入る福井大学の学生に対しても計画的に研修を実施しました。プログラミングの授業は、教育委員会の配布したカリキュラムをもとに、全ての小学5年生に授業を行いました。その中で、全小中学校がタブレットを活用した授業を公開しました。また、すべての中学校において、学校公開期間にICTを活用した授業を公開しました。	(基)ICT機器を活用した授業の実施学校数 基準値(H27):全小中学校	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	9	教員の資質向上の推進
具体的な取組	(1) 教員研修の充実	
	(2) 福井大学教職大学院との連携	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	教職員課題別 研修の受講	学校教育課	教職員課題別研修については、夏季休業中を中心に27の講座を実施し、全教職員が1回以上受講し、資質向上に努めました。 今後も、更なる充実に努めます。	(基)教職員課題別研修の受講率（研修受講者/全教職員） 基準値(H27)：100%	目標	100%	100%	100%	100%
					実績	100%	117%	100%	-
					達成度	100%	117%	100%	-
(2)	福井大学教職 大学院との連 携	学校教育課	福井大学教職大学院へ派遣する教員に対して、入学時及び在学中に要する経費を補助することで教員の進学を促し、教職大学院との連携を深めていきます。 この取り組みにより、令和元年度は2年履修コースに3名、1年履修コースに2名の派遣が決定しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	10	キャリア教育の推進
具体的な取組	(1) 地域の特色を生かしたキャリア教育	
	(2) 地域や企業と学校が連携した取組	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	地域の特色を生かしたキャリア教育	学校教育課	<p>福井市キャリア教育プログラムの活用学級は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業のため実施できなかった学級もあり、数値目標を達成できませんでした。</p> <p>小学校の社会見学や職場見学は、1校当たり4日実施し、児童が将来の生活や社会、職業などを意識する機会となりました。</p> <p>中学校の職場体験学習は、全中学校の2年生が実施しました。令和元年度は、キャリア教育プロジェクトとしてモデル校（安居中・至民中）が提案型職場体験学習を実践し、市教委、キャリア教育コーディネーターが支援しながら職場体験学習を行いました。その成果や意義、課題等について、教務主任研修会で実践発表を行うことで来年度の取組へとつなげました。</p> <p>これまでの成果が認められ、令和元年度、福井市教育委員会は「第13回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞しました。</p> <p>来年度は、モデル校での実践を各校に広めるなど、取組を更に充実させていきます。</p>	<p>(総)(基)福井市キャリア教育プログラムの活用学級（小2、小5、中1）の割合</p> <p>基準値(H27)：策定中</p>	目標	50%	70%	100%	100%
					実績	58.2%	84.0%	98.8%	-
					達成度	117.6%	120%	98.8%	-
(2)	地域や企業と学校が連携した取組	学校教育課	<p>福井市キャリア教育連絡協議会を開催し、市内経済団体やキャリア教育コーディネーターと連携してキャリア教育を推進することができました。</p> <p>令和元年度は、新たに女性活躍促進課が本協議会に参加し、連携を図る体制を構築しました。</p> <p>福井市キャリア教育プログラムは、市PTA連合会総会や教務主任研修会等で周知し、協力を依頼したことで、本プログラムの実施が各学校に浸透しています。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	1	ふるさと教育の推進
具体的な取組	(1) 副読本「ふるさと福井の人々」の活用	
	(2) 郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	
	(3) 福井の魅力を体感する活動の推進	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	副読本「ふるさと福井の人々」の活用	学校教育課	毎年、全小学5年生に配付しており、小学5・6年次に社会科を中心とした授業や調べ学習、読書等で活用しています。歴史上の人物が多く掲載されているため、5年生よりも6年生で活用する割合が高くなっています。今後も、子どもたちが福井の偉人の生き方を学ぶことを通して、ふるさと福井への誇りをもてるように、活用を推進していきます。	(基)副読本「ふるさと福井の人々」の活用率 基準値(H27)：100%	目標	100%	100%	100%	100%
					実績	92%	92%	87%	-
					達成度	92%	92%	87%	-
(2)	郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	学校教育課	毎年、中学2年生が立志式を行い、橋本左内の生き方や功績に理解を深め、各自将来の決意や目標を明らかにしていきます。令和元年度は、全中学校の約半分が新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業となり、中止となりました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	福井の魅力を体感する活動の推進	学校教育課	地区運動会や公民館まつりなど地域行事への参加だけでなく企画や運営にも携わる学校が増えました。また、地域活性化として駅前や県外で地域のPR活動をする学校もありました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	2	福井の魅力を学び、発信できる環境づくり
具体的な取組		(1) 郷土学習事業の推進
		(2) 世代間交流事業の推進
		(3) 社会教育団体の育成
		(4) 学習情報の提供

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標 R3
						H29	H30	R1	
(1)	「福井学」学習センター事業	生涯学習課	中央公民館の「福井学」学習センター事業では、福井の偉人等の歴史講座や現在の中心市街地のまちづくり、産業技術、生活文化など、幅広いテーマによる講座を開催し、目標の参加者数を達成できました。	(総)福井学講座参加者数	目標	480人	490人	510人	600人
				基準値(H27): 454人	実績	484人	503人	512人	-
				達成度	100.8%	102.7%	100.4%	-	
	地域「福井学」事業	生涯学習課	地区公民館の「福井学」事業では、より地域に密着した歴史や文化をテーマとし、それぞれの地域の特色を活かした教育事業を実施し、目標の参加者数を達成できました。 さらに、「福井学」の一層の定着のため、各地区の公民館まつり等において、学習内容や取組内容を展示するなどの成果発表を行いました。 また、学習成果展示会を、市民ホールとアオッサ5階で開催し、全市民に向けた情報発信を行いました。	(基)郷土学習参加者数	目標	10,000人	10,000人	10,050人	10,400人
				基準値(H27): 9,400人	実績	9,785人	10,035人	10,093人	-
				達成度	97.9%	100.4%	100.4%	-	
(2)	伝統文化継承事業	生涯学習課	地域において守り伝えられてきた特色ある伝統行事や生活文化等を次世代に継承するため、伝統文化継承事業を実施し、目標通り19事業を実施できました。	(部)伝統文化継承事業 事業数 (~H29「はつらつ伝承塾」促進事業実施数(公民館及び地区団体))	目標	24事業	14事業	19事業	-
				実績	24事業	18事業	19事業	-	
				達成度	100.0%	128.6%	100.0%	-	

(2)	人材活用派遣事業	生涯学習課	<p>「不死鳥友の会」など登録者のネットワークによる勧誘を進めるなど、様々な機会を捉えて事業の紹介を行い、登録を呼びかけた結果、目標を達成できました。しかしながら、登録者の高齢化に伴って減少する傾向にあるため、来年度も同様に様々な機会を捉えて登録を呼びかけ、登録者数の確保と指導内容の多様化に努めます。</p> <p>連携中枢都市圏での人材派遣事業は、来年度は本市の事業を連携市町で活用するところから始め、各市町の既存事業を最大限活かした事業の実施の方策を関係市町と調整します。</p>	(基)高齢者人材活用派遣回数 基準値(H27) : 82回	目標	83回	83回	設定なし	87回
					実績	81回	69回	69回	-
					達成度	97.6%	83.1%	-	-
(3)	社会教育団体の育成	生涯学習課	<p>社会教育団体の活動や団体相互の連携に対して支援を行いました。また、世代間交流の充実を図るため、三世代連絡運営委員会等が主催する「三世代軽スポーツ大会」や「三世代合同駅前清掃」への支援を行いました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(4)	学習情報の提供	生涯学習課	<p>福井県の運営する「まなびいネットふくい」のホームページにおいて中央公民館が所有する視聴覚教材情報の提供、講師人材の情報登録を行うなど生涯学習情報の提供を行いました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	1	学校給食の充実と食育の推進
具体的な取組	(1) 食育の推進	
	(2) 地場産食材の活用	
	(3) 給食施設・設備の整備	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	食育の推進	保健給食課	<p>各学校ごとに、1年間の「食に関する指導の全体計画」を作成し、関連教科や総合の時間等で食育に取り組みました。栄養教諭・学校栄養職員は、その計画に沿い、児童生徒に対し「食の指導」を令和元年度、合計で816回行いました。内容としては、「朝食」、「食事のマナー」、「栄養素の働き」など年代に応じた指導を行っています。</p> <p>また、給食だよりやFacebookにて食育や学校給食の情報を発信し、家庭への周知も行いました。</p>	(基)食育学習会や体験活動等を実施している学校の割合	目標	100%	100%	100%	100%
				基準値(H27)：100%	実績	100%	100%	100%	-
				達成度	100%	100%	100%	-	
(2)	地場産食材の活用	保健給食課	<p>納入業者や市園芸センターなど関係機関と調整し、地場産食材を計画的に取り入れました。</p> <p>また、郷土料理等を取り入れた和食給食を実施するとともに、福井の地場産食材や郷土食を多く取り入れた中核市誕生・市制130周年記念給食や朝倉ゆめまるランチ事業を行い、子ども達が喜ぶ楽しい給食づくりを行いました。</p>	(基)市内産農産物の使用品目数の維持	目標	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上
				基準値(H27)：20品目以上	実績	20品目	23品目	25品目	-
				達成度	100%	100%	100%	-	
(3)	給食施設・設備の整備	保健給食課	<p>給食施設の老朽化や学校衛生管理基準、食物アレルギーへの対応に向け、令和元年度は、新たな学校給食センターの整備について「福井市新学校給食センター等整備基本計画」を策定するとともに、PFI可能性調査も実施しました。</p> <p>また、単独調理校については、学校の大規模改修等に合わせて、ドライシステムへの改修に取り組んでいきます。現在は、ドライ運用で学校給食の衛生管理の徹底に努めています。</p>	(基)給食施設のドライ化数（累計）	目標	5施設	5施設	5施設	8施設
				基準値(H27)：4施設	実績	4施設	5施設	5施設	-
				達成度	80%	100%	100%	-	

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	2	自らが行動できる安全教育の推進
具体的な取組	(1) 安全教育の推進	
	(2) 児童生徒や教職員の防災・防犯訓練の充実	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目 設定なし		H29	H30	R1	R3
(1)	安全教育の推進	保健給食課	各学校において「学校安全年間計画」を策定し、それに基づいて、安全教育や避難訓練を実施しました。 各学校では、児童生徒が安全確保のための適切な行動を自分で考え判断できるよう、授業中だけでなく、休み時間や登下校時など、大人が近くにいる場面での災害を想定した訓練等、工夫し取り組みました。また、災害発生時にとるべき行動について確認や話し合いを行いました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	児童生徒や教職員の防災・防犯訓練の充実	保健給食課	児童生徒や教職員が、突発的な場面において迅速かつ的確に対応できるよう、全小中学校で防災や防犯の訓練を実施しています。 令和元年度においても、全小中学校で避難訓練を実施し、沿岸部の学校では、津波被害を想定した訓練も行いました。また、防災アドバイザーや消防署、警察、気象庁等の関係機関と連携を図り、より実践的な訓練になるよう努めました。	(総)(基)小中学校における避難訓練の実施率 基準値(H27)：100%	目標	100%	100%	100%	100%
					実績	100%	100%	100%	-
					達成度	100%	100%	100%	-

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
具体的な取組	(1) 健康教育の充実	
	(2) 学校、家庭、関係機関などの連携強化	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	健康教育の充実	保健給食課	定期健康診断及び就学時健康診断の結果を分析し、課題改善につなげるため、日々の保健指導や学校保健委員会の開催を通して、児童生徒の生活習慣や健康に対する意識の改革に努めました。健康診断の結果では、むし歯の保有率は年々減少しているものの、全国と比較するとまだ高い保有率であるため、養護教諭と学級担任等が協力し、歯垢染色剤及び口模型、デンタルミラーを用いた正しい歯みがき教室を実施しました。	(基)学校保健委員会の開催 基準値(H27)：全小中学校	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(2)	学校、家庭、関係機関などの連携強化	保健給食課	健康課題について情報を把握し、対策を講じるために、学校、家庭、市健康づくり推進協議会等の関係機関で連携を図りました。各学校において、学校歯科医の協力を得て歯みがき指導の実施や、保護者に対しリーフレットを配布し家庭への啓発を図ったり、各学校から対象保護者へ歯科受診を依頼しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
施策の方向性	4	生き生きと運動に取り組む学校体育の充実
具体的な取組	(1) 児童生徒の体力維持向上	
	(2) 体育指導の充実	
	(3) 運動部活動の充実	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	児童生徒の体力維持向上	保健給食課	<p>全小中学校が「児童生徒体力づくり推進計画書」を作成し、教育活動全般を通して、運動に取り組みました。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をもとに、本市の実態や傾向、課題などを明らかにし、その内容を各学校に周知するとともに、各学校の記録とも照らし合わせながら、強化が必要な種目について、対策を講じるよう指導しました。</p>	<p>(基)体育の授業を除いた休み時間等で年間を通して運動に取り組んでいる小学校の割合</p> <p>基準値(H27)：46%</p>	目標	62%	66%	68%	80%
					実績	64%	66%	62%	-
					達成度	103.2%	100.0%	91.2%	-
(2)	体育指導の充実	保健給食課	<p>体育主任会において、文部科学省の方針や考えについて、伝達と指導を行いました。教員対象に体育学習の考え方と授業の進め方の研修として、県と連携しながら陸上、体づくり運動、水泳、剣道、器械運動の各種目について実技講習会を実施しました。</p> <p>児童生徒に対しては、アスリートやスポーツクラブの専門指導員による体育授業を行いました。また、実際に児童生徒への指導を通して、専門的な指導法について教員が学ぶ機会にもなりました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	運動部活動の充実	保健給食課	<p>令和元年度は、18校で44名の地域の指導者を活用し、専門的な技術指導を行い、様々な部が地区大会ならびに県大会で入賞することができました。</p> <p>また、トップアスリート（一流指導者）による実技講習会として令和元年度は、女子バドミントン教室を実施し、13校から70名の生徒が参加しました。その他、陸上教室も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむをえず中止しました。</p>	<p>(基)学校からの希望に対する運動部活動地域連携推進事業指導者の委嘱率</p> <p>基準値(H27)：92%</p>	目標	100%	100%	100%	100%
					実績	100%	100%	100%	-
					達成度	100%	100%	100%	-

方針	4	自然科学への興味を高め、子どもの夢を育てる
施策の方向性	1	自然科学教育の推進
具体的な取組	(1)	展示の充実
	(2)	自然史博物館再整備の検討
	(3)	自然科学分野のキャリア教育と学習講座の充実
	(4)	宇宙や天体に関する興味・関心の向上

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	展示の充実	自然史博物館	<p>自然史博物館の入場者数については、自然史講座や天体観望会等様々な行事、ハピリンホールでの展示等新たな取組のほか、足羽山ビジターセンターでは3,180人の利用がありました。夏季以降来場者が伸びなかったことや、新型コロナウイルス感染防止のため行事の中止もあり目標値を下回りました。引き続き、企画展、自然史講座等を実施するほか、足羽山ビジターセンターでの情報発信、展示の充実を行い誘客に努めます。</p> <p>セーレンプラネットの入場者数については、人気のあるドームイベントや文化施設と連携したワークショップの開催、移動天体観望会等を実施しましたが集客が伸びず、3月のイベントが中止になったこともあり、目標に達しませんでした。引き続き集客力のあるイベントや文化施設との連携したイベント等の実施のほか、積極的な広報活動、小中学校への営業活動を行うとともに、魅力ある番組の投映や展示の充実に努めます。</p>	(基)自然史博物館企画展入場者数	目標	21,000人	27,000人	-	22,000人
				基準値(H27)：14,750人	実績	25,281人	27,421人	22,050人	-
					達成度	120.4%	101.6%	-	-
					(総)(基)自然史博物館とセーレンプラネットの年間総入場者数	目標	153,000人	153,000人	154,000人
				基準値(H27)：19,325人(自然史博物館のみ)	実績	115,617人	133,097人	114,611人	-
					達成度	75.6%	87.0%	74.4%	-
					(基)自然史講座等参加者数	目標	-	-	-
				基準値(H27)：	実績	3,239人	3,688人	3,333人	-
					達成度	-	-	-	-
設定なし	目標	-	-		-	-			
(2)	自然史博物館再整備の検討	自然史博物館	財政健全化計画により延期	実績	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	

(3)	自然科学分野 のキャリア教育と学習講座 の充実	自然史 博物館	産学連携科学技術キャリア教育については、3 月の春休み期間中に企業訪問等を予定していま したが、新型コロナウイルス感染防止のため実施を 見合わせたことにより、目標を大幅に下回りました。	(部)産学連携科学技 術キャリア教育事業 参加者数	目標	100人	110人	125人	-
					実績	108人	120人	19人	-
					達成度	108.0%	109.1%	15.2%	-
(4)	宇宙や天体に 関する興味・ 関心の向上	学校教 育課	小中学校等の学校団体を対象とした平日午前中 の優先予約を利用し、セーレンプラネットの展示 室とドームシアターを活用しました。小学校向け の博物館学習では、学校に合わせた学習プログラ ムを活用しました。 今後も、子どもたちの宇宙や天体に関する興 味・関心を高めるための学習に取り組んでいきま す。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	5	安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む
施策の方向性	1	安全で快適な学校施設の整備
具体的な取組		(1) 学校施設の老朽化対策
		(2) 安全性の確保・向上
		(3) 快適な環境づくり

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	小学校大規模改修事業/学校体育館大規模改修事業/学校生活環境整備事業	教育総務課	<p>小学校大規模改修事業については、順化小学校・順化公民館複合化及び大規模改修工事が2月に完成しました。また、社北小学校の大規模改修については、3月に仮設校舎の建設が完了するとともに、南校舎の大規模改修工事に着手しました。</p> <p>足羽中学校の校庭整備工事（水はけ改善等）については、大型台風被害による国内各地での災害復旧工事のために工事用製品が供給不足となり、年度内には完成しなかったものの、令和2年4月下旬に完成しています。</p>	(基)校舎や体育館の大規模改修及びプールや校庭の改修を今後新たに実施する学校数	目標	3校	5校	6校	11校
				基準値(H27)：0校	実績	3校	3校	4校	-
				達成度	100%	60%		-	
(2)	窓ガラス飛散防止対策事業	教育総務課	<p>窓ガラス飛散防止対策事業については、目標通り小学校9校で工事が完了しました。</p> <p>来年度以降も、拠点避難所である小学校体育館の安全性を確保するため、引き続き、防災機能強化に取り組めます。</p>	(総)(基)小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策の実施率	目標	43.1%	56.9%	74.5%	100%
				基準値(H27)：17%	実績	43.1%	56.9%	74.5%	-
				達成度	100%	100%	100%	-	
(3)	音楽室エアコン設置	教育総務課	平成29年度にて事業完了	(基)小中学校全ての音楽室へのエアコン設置率	目標	小学校37校	-	-	100%
				基準値(H27)：47%	実績	小学校37校	-	-	-
				達成度	100%	-	-	-	

(3)	トイレ洋式化改修工事	教育総務課	トイレ洋式化改修工事については、当初予定していた5校に加え、大安寺幼稚園において修繕工事に併せて洋式化改修を実施し、目標を1.4ポイント上回りました。来年度以降も、国の補助制度を活用しながら早期の目標達成に向けて改修を進めます。	(基)学校トイレの洋式化率 基準値(H27)：37%	目標	40.7%	44.7%	46.5%	50.0%
					実績	41.8%	45.4%	47.9%	-
					達成度	102.7%	101.6%	103.0%	-

方針	5	安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む
施策の方向性	2	安全・安心な通学路の環境整備
具体的な取組	(1) 通学路交通安全プログラムに基づく取組	
	(2) 通学路照明灯の設置	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目 設定なし		H29	H30	R1	R3
(1)	通学路交通安全プログラムに基づく取組	保健給食課	令和元年7月に既存のプログラムを通学路安全プログラムと改定し、「交通安全」に加え、「防犯」、「防災」の観点を追加しました。 このプログラムに基づき、学校等が把握した通学路危険箇所について、関係機関による通学路安全推進会議を開催し、情報共有、合同点検、安全対策の検討を行い、令和元年度は、37箇所を改善しました。具体的には、ガードレールの設置や歩行者用青信号時間の延長、空き家の壁面補修などを行いました。	目標	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	
(2)	通学路照明灯の設置	保健給食課	中学校通学路の安全確保のため、令和元年度は、2件の要望に基づき、2箇所の通学路照明灯の設置を行いました。	目標	100%	100%	100%	100%	
				実績	100%	100%	100%	-	
				達成度	100%	100%	100%	-	

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	1	地域で進める青少年の健全育成
具体的な取組		(1) 地域との連携
		(2) 青少年の非行防止と被害防止対策
		(3) 姉妹友好都市との交流
		(4) 放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	地域との連携	青少年課	見守り活動や危険箇所点検、大人と子どもの交流会など、地域の中で顔の見える関係を築くための活動を青少年育成福井市民会議の48支部で実施しました。また、地域の大人の目を増やすため、子どもへの声かけ事案が発生しやすい夕方に屋外で作業をするなどの「夕方見守り運動」を推進しました。	(基)地域の大人と子どもの交流活動の実施地区(支部)数 基準値(H27)：48支部	目標	48支部	48支部	48支部	48支部
					実績	48支部	48支部	48支部	-
					達成度	100.0%	100.0%	100.0%	-
(2)	青少年の非行防止と被害防止対策	青少年課	市教育委員会と福井警察署及び福井南警察署で交わした不審者情報に関する連携協定に基づく会議を開催しました。警察から学校への聞き取りがよりスムーズにできるよう、各学校が記入する「不審者情報聞き取りメモ」の様式を見直しました。 また、近年、コミュニケーション手段が多様化してきたことから、「メール相談」も開始しました。文字だけの情報で、いかに真意を読み取るか、相談者の気持ちにより添った返答をするためには、どのような言葉選びをしたらよいか研究しました。相談者の思いをくみ取れない場合の対応など課題も見えてきました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	姉妹友好都市との交流	青少年課	熊本市及び結城市との青少年の相互訪問を実施し、交流体験を通して郷土理解が進むとともに、両市の友好関係を深めることができました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

(4)	放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保	学校教育課	<p>今年度も、要件を満たす放課後留守家庭の児童のうち、児童クラブの利用を希望する児童をすべて受け入れました。</p> <p>また、小学校内の児童クラブ2カ所（円山、河合）のクラブ室や備品を整備し、定員の拡充を行いました。</p> <p>今後も、児童クラブの利用希望者の増加が予想されるため、学校の余裕教室等を利用して児童クラブの整備を進めます。</p> <p>併せて、市有施設の老朽化対策と効率的な運営を行うため、各地区の状況を踏まえた整備方針の策定や、民間事業者による児童クラブの新規設置等に対する助成制度の創設を検討します。</p> <p>また、児童クラブ職員の人材確保が課題となっている中、発達障がいやその傾向がある児童の対応で職員の負担が増加している現状があるため、専門知識をもつ学童支援アドバイザーを各クラブに派遣し、アドバイスや相談にのるなどの支援を行いました。</p> <p>そのほか、従来研修内容を見直し、職員の資質向上を図るためのリーダー養成研修の実施や大学との連携事業を実施するなど、課題の解消に向けて取り組みました。</p>	<p>(基)児童クラブの設置数（計画当初68か所）</p> <p>基準値(H27)：68か所</p>	目標	74か所	78か所	82か所	77か所
					実績	74か所	78か所	82か所	-
					達成度	100.0%	101.3%	106.5%	-

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	2	家庭で進める青少年の健全育成
具体的な取組	(1) 家族のふれあいの推進	
	(2) 規範意識の啓発	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	家族のふれあいの推進	青少年課	絵手紙コンクールの優秀作品展示を4会場（ハピリン、中央郵便局、エルパ、ベル）で実施し、家族ふれあいの推進に努めました。	(基)「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示会の開催数 基準値(H27)：3回	目標	3回	3回	4回	5回
					実績	3回	3回	4回	-
					達成度	100%	100%	100%	-
(2)	規範意識の啓発	青少年課	ネット被害やいじめ、ネット依存等の危険性が危惧されていることから、学校等に対し、「情報モラル講習会」の開催を呼びかけました。この結果、全小中学校で情報モラル講習会を開催することができました。インターネット利用に関する指導は、家庭が果たす役割も大きいことから、来年度は、より多くの保護者を対象とした講習会を開催し、インターネット適正利用にかかる啓発活動を一層推進します。 教職員に対しては、小中学校合同による生徒指導主事会において、専門的な知識をもつ講師(e-ネットキャラバン)を招き、フィルタリングに関する研修会を開催しました。参加した先生方からは、インターネットの安全な利用に役立つ内容であったとの評価を得られました。家族ふれあいタイム推進運動の浸透を通じて、円滑な親子関係の構築や思いやりのある明るい家庭づくりに取り組めます。	(部)小中学生等の情報モラル講習会の開催	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	-
					達成度	100%	100%	100%	-

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	3	自然を生かした体験学習
具体的な取組	(1) 少年自然の家の利用促進	
	(2) 少年自然の家の整備	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	少年自然の家の 利用促進	青少年 課	<p>利用希望者が多い連休期間の開所日を増やした結果、年間利用者数が目標値を上回りました。また、市内スポーツ少年団等からの紹介に加え、大学等にダイレクトメールを送付した結果、県外からの利用団体も増加しました。</p> <p>今後も、ホームページの活用や利用案内のパンフレットの送付など、県外の方へのPRを進めるとともに、利用者ニーズに応じた研修活動となるよう、活動プログラムの追加や見直しを行います。</p>	(総)(基)少年自然の家利用者数(年間) 基準値(H27): 11,129人	目標	10,500人	11,300人	11,400人	11,300人
					実績	10,427人	12,833人	11,816人	-
					達成度	99.3%	113.6%	103.7%	-
(2)	少年自然の家の 整備	青少年 課	<p>天井破損や漏水が生じたため、必要な修繕を行いました。</p> <p>今後も、安全・安心で快適な活動環境の向上に努め、施設の改善や老朽化した設備等の改修を行います。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	1	公民館を活用した多様な学習機会の提供
具体的な取組	(1)	公民館事業の充実
	(2)	公民館運営審議会の充実
	(3)	家庭教育事業の推進
	(4)	青年教育事業の推進
	(5)	地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実
	(6)	人材育成及び指導体制の充実
	(7)	公民館によるコーディネーターとしての地域活動支援
	(8)	学校、家庭、地域の連携強化

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	公民館事業の 充実	生涯学 習課	<p>家庭教育事業、少年教育事業、青年教育事業、福井学事業、地域課題解決事業（人材育成事業、伝統文化伝承事業、健康長寿事業、環境教育事業など）の5事業を一光公民館を除く全公民館で実施しました。</p> <p>また、中央公民館では、福井市内の全公民館を紹介する「福井市の公民館」の発刊が完了し、その内容をまとめたホームページを作成するなど情報の収集・発信にも努めました。</p> <p>さらに、市民の多様な学習ニーズや地域課題に 応えるため、中央公民館及び地区公民館で自主グループ活動を支援し、全部で881グループが活動しました。</p>	(基)公民館利用者数	目標	920,000人	920,000人	設定なし	920,000人
				基準値(H27) : 917,000人	実績	889,360人	900,600人	824,534人	-
					達成度	96.7%	97.9%	-	-
				(基)公民館学級・講座及び自主グループ数	目標	1,480グループ	1,490グループ	設定なし	1,470グループ
				基準値(H27) : 1,470グループ	実績	1,487グループ	1,491グループ	1,300グループ	-
					達成度	100.5%	100.1%	-	-
(2)	公民館運営審 議会の充実	生涯学 習課	<p>令和2年度の公民館運営審議会委員の改選に向けて、青年層や女性の登用を働きかけたほか、地区の事情により、委員の確保が困難な場合には、減員も可能とするなど柔軟な委員構成に努めました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

(3)	家庭教育事業の推進	生涯学習課	公民館教育事業「家庭教育事業」は、一光公民館を除く全ての公民館で実施しました。今後も地域の実情にあわせて、地域の保育園、幼稚園、認定こども園、学校、児童館などの公的機関とのネットワークを活かし、地域全体で親子の成長や学びを支える学習機会の提供に努めます。	(基)親学講座開催業実施数 基準値(H27):36回	目標	38回	設定なし	設定なし	40回
					実績	34回	12回	11回	-
					達成度	89.5%	-	-	-
(4)	青年教育事業	生涯学習課	各公民館それぞれが工夫を凝らした青年教育事業を実施した結果、参加者数は目標に達しました。既存の青年グループの維持や活性化は、必ずしも順調な地区ばかりではありませんが、青年が地域と関わる機会をこれからも作り続けることで、地域活動の新たな担い手の育成、地域コミュニティの活性化に繋がっていきます。	(部)青年教育事業参加者数 (~H30 青年グループ数)	目標	38グループ	38グループ	4,700人	-
					実績	37グループ	34グループ	4,856人	-
					達成度	97.4%	89%	103%	-
	青年交流事業	生涯学習課	青年交流事業については、目標の交流事業3回を達成しました。新型コロナウイルスの影響で成果報告会を兼ねた交流や、勧誘活動は出来ませんでした。今後も連合青年団への支援に努めます。 連合青年団の活動を通して、青年グループの活動を活性化するには、経験や組織力が不足しています。連合青年団の組織と活動の幅をさらに広げるため、引き続き支援を行っていきます。	(部)青年交流事業の開催	目標	2回	3回	3回	-
					実績	3回	3回	3回	-
					達成度	150%	100%	100%	-
(5)	地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実	生涯学習課	地域課題解決事業として、人材育成事業、伝統文化伝承事業、健康長寿事業、環境教育事業など自らの地域が抱える課題解決に全ての公民館が取り組みました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(6)	人材育成及び指導体制の充実	生涯学習課	社会教育主事資格保持者と無資格者で給与に格差を設けることで、社会教育主事資格の取得を促すとともに、福井大学と連携した研修をはじめとした採用年数やテーマに応じた多様な研修を実施し、公民館職員の資質向上に努めています。また、社会教育指導員を中央公民館などに配置し、主に中央公民館の事業に対し助言等を行い、事業内容の向上に努めています。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

(7)	公民館による コーディネーターとしての 地域活動支援	生涯学 習課	地域のコーディネーターとして、地域の各種団体との連絡・調整を行いながら、地域運営を支援した結果、多くの地域団体が公民館を利用しました。	(基)公民館各種団体 活動利用者数 基準値(H27): 272,000人	目標	273,500人	設定なし	設定なし	277,000人
					実績	252,999人	285,736人	291,004人	-
					達成度	91.3%	-	-	-
(8)	学校、家庭、 地域の連携強 化	生涯学 習課	小学校・PTA・地域の人々が協力して行う地域教育力活性化事業は、小学校PTAの全5ブロックで実施され、保護者や地域の方が教育について一緒に考えることで、コミュニケーションを取る良い機会となりました。 中学校・PTA・地域の人々が協力して行う学社連携事業は、全中学校で実施しました。学校、家庭、地域社会が連携して事業に取り組むことで、三者が情報交換を行い、交流を深める良い機会となりました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	2	だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実
具体的な取組	(1) 公民館の整備	
	(2) 公民館施設等の維持管理	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	公民館の整備	生涯学 習課	<p>順化公民館の複合化については、計画通り整備を進め、1期工事が7月5日、2期工事が2月14日に完了しました。</p> <p>また、一乗公民館の移転用については、4月25日、10月31日に一乗地区建設委員会と協議を行いながら進め、3月25日に実施設計が完了しました。今後は、一乗地区建設委員会へ報告を行い、令和2年度内の工事完成を目指します。</p> <p>順化公民館が完成したことから耐震化率が上がりました。耐震性が低い、湊、東郷、殿下、一光については引き続き計画的に整備を進めていきます。公民館が地区の中核的な施設として機能できるよう、施設の新築や耐震補強、改修などを計画的に整備を進めます。</p>	<p>(基)公民館施設整備方針の達成度</p> <p>基準値(H27): 75%</p>	目標	86%	86%	86%	86%
					実績	78%	81%	83%	-
					達成度	90.7%	94.2%	96.5%	-
(2)	公民館施設等の維持管理	生涯学 習課	<p>公民館を老朽化の解消、耐震性の確保、施設環境の確保、施設面積の充実の4つの指標を基に維持管理します。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	3	市民憲章運動の推進
具体的な取組	(1) 市民憲章運動の推進	
	(2) 不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標(上段)と実績(下段)			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	市民憲章運動 の推進	生涯学 習課	<p>新しい実践目標を周知するための取組として、ショッピングセンターなど市内5箇所で開催を実施した他、市内の全ての公民館(50館)に卓上のぼり旗を配布し、窓口等へ設置を行いました。</p> <p>また、新実践目標を記載したオリジナルノートを作成し、新実践目標に応募のあった小中学校や、市内全公民館、街頭において、計3,000部を配付しました。</p> <p>さらに、ホームページやSNS等で市民憲章運動について積極的に情報を発信しました。今後も実践目標の普及啓発を図り、市民一人ひとりが市民憲章運動に取り組めるように努めます。</p> <p>福井市を美しくする運動は、新型コロナウイルスの影響で春(3月8日(日)~15日(日))の運動が各地域で中止や活動範囲の縮小などにより、参加者数の目標を達成することができませんでした。</p>	<p>(基)福井市を美しくする運動参加者数</p> <p>基準値(H27): 53,500人</p>	目標	60,500人	61,000人	61,500人	56,000人
					実績	60,833人	61,016人	38,452人	-
					達成度	100.6%	100.0%	62.5%	-
(2)	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援	生涯学 習課	<p>地域の特性に応じた5つの項目に沿った実践活動が行えるよう、全ての支部に対し交付金を支給しました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	4	市民ニーズに対応した図書館サービスの提供
具体的な取組	(1) 多様化するニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実	
	(2) 郷土資料等の収集と情報発信の強化	
	(3) レファレンスサービスの充実	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	多様化する ニーズに対応 した資料の収 集、整理、保 存の充実	図書館	市民の様々なニーズに対応して、市立図書館は郷土資料や貴重書を活用した行事、みどり図書館は子育て世代を対象とした企画、桜木図書館はまちなか施設やアオッサ内各施設と連携したイベントなど、各館の特色を生かした事業を実施しました。	(総)(基)図書館利用者数 基準値(H27): 740,000人	目標	747,345人	747,345人	742,220人	743,700人
					実績	710,808人	721,627人	731,189人	-
					達成度	95.1%	96.6%	98.5%	-
(2)	郷土資料等の 収集と情報発 信の強化	図書館	郷土資料の積極的な収集に努め、2,200冊余りを蔵書として登録しました。 また、冊子形態の資料だけでなくマップやリーフレットなどの地域資料も収集し、利用に供しました。 特設コーナーや行事案内のほか、児童向けおすすめ 図書のリストをSNSで発信しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	レファレンス サービスの充 実	図書館	レファレンスカウンターでの市民の要望に応じて、専門的知識を持つ司書が適切な資料の紹介や提供を行いました。 また、時節に応じた図書を集めた「特設コーナー」を設置し、課題解決に役立つ資料、情報を提供しました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	5	効果的・効率的な図書館運営と施設整備
具体的な取組	(1) 利用時間と運営体制の整備	
	(2) 図書館施設の整備	
	(3) 読書に親しめる環境の整備	

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	
(1)	利用時間と運営体制の整備	図書館	9月に利用者アンケートを行い、満足度や意見及び提案について調査し、図書館利用満足度については、目標を上回りました。 今後は、利用者アンケートでの意見や提案を参考にして、生活に身近な商業施設等への図書返却ボックスの設置に取り組むなど、利用者ニーズに応じたサービスの提供に努めていきます。	(基)図書館を利用する市民の満足度 基準値(H27)：86.5%	目標	87.0%	88.0%	89.0%	88.5%
					実績	87.8%	88.9%	89.1%	-
					達成度	100.9%	101.0%	100.1%	-
(2)	図書館施設の整備	図書館	みどり図書館と桜木図書館の閲覧席を拡充したほか、市立図書館において飲み物を飲みながら快適に読書や学習ができるスペースの設置など、図書館の利用促進に努めました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	読書に親しめる環境の整備	図書館	図書館支援員や担当教諭等と連携しながら、50校の小学校を訪問しました。 また、移動図書館車を活用し、新たな児童・福祉施設への訪問に取り組みました。 さらに、学校などからの図書館訪問に積極的に応じ、図書館に親しんでもらえる機会を設けた結果、219学級の訪問がありました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	1	安全・安心で気軽に楽しめるスポーツ施設の充実
具体的な取組	(1) 体育施設の整備	
	(2) 国体関連施設の整備	
	(3) 学校体育館開放事業	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	体育施設の整備	スポーツ課	<p>屋外体育施設においては6月に雨天による利用キャンセルが多かったこと、屋内体育施設では新型コロナウイルスの影響により利用が自粛されたことで、利用者数を伸ばすことができませんでした。</p> <p>今後は、市体育施設条例を一部改正し、新年度からの旧美山・清水地区の料金体系を市内の同種施設と統一するとともに、指定管理者を一本化して管理運営することで、サービスや利便性の向上を図り、利用者数の増加に繋げていきます。</p> <p>施設整備に関しては、フェニックススタジアムのグラウンドの段差を解消する工事を行いました。</p> <p>また、その他の体育施設については築25年以上経過しているものが多く、順次に老朽化や経年劣化への対応を行う必要があり、今後も、競技人口の推移や社会状況の変化に対応するため、機能集約や多目的化等の、ニーズに応じた施設整備を進めていきます。</p> <p>財政再建計画の中で「機能廃止の方向性」としている施設については、地権者や利用者への説明会において、有効活用や借地の返還について協議しました。今後も、説明会を通して本市の考え方についての理解を求めながら、施設の方針をまとめていきます。</p>	(基)市スポーツ課が所管する体育施設の利用者数（延べ人数） 基準値(H27)：1,258,203人	目標	1,260,000人	1,260,000人	1,260,000人	1,300,000人
				実績	1,249,725人	1,179,140人	1,069,559人	-	
				達成度	99.2%	93.6%	84.9%	-	
(2)	国体関連施設の整備	スポーツ課	平成30年度にて事業終了	設定なし	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	
				達成度	-	-	-	-	

(3)	学校体育館開放事業	スポーツ課	<p>学校教育に支障のない範囲で小学校は17時から21時まで、中学校は19時から21時まで体育館を開放しました。(日曜日を除く週5日間開放)</p> <p>今後も地区住民が身近で気軽に利用できる社会体育施設となるよう体育館の開放に努めます。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	2	福井国体開催を契機とするスポーツ活動への参加促進
具体的な取組	(1)	生涯スポーツの推進
	(2)	体育協会の育成と事業の充実
	(3)	スポーツ推進委員協議会の育成
	(4)	市民のスポーツへの関心の向上
	(5)	障がい者スポーツの普及・推進
	(6)	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	生涯スポーツ の推進	スポー ツ課	春と秋のスポーツ教室（体操教室）や、ファミリーミニマラソン大会を継続して開催しました。令和元年度は、多くの申込みがあり、市民のスポーツ活動の推進に繋がりました。 また、市民スポーツレクリエーション大会やニュースポーツフェスタなども内容を工夫しながら、継続して開催しました。 そのほか、スポーツ少年団活動に対しては「次世代を担う健全なからだところを持った青少年の育成」の実現に向けて、指導者の養成や活動の充実を図れるよう引き続き支援を行いました。	(基) 週1回以上運動やスポーツをする成人の割合（「県民意識調査」福井市抽出分） 基準値(H27)： 40.90%	目標	48.0%	50% 18歳以上 (市民意識調査)	-	65.0%
					実績	46.5%	54.7% 18歳以上 (市民意識調査)	-	-
					達成度	96.9%	109.4%	-	-
(2)	スポーツ協会 の育成と事業 の充実	スポー ツ課	福井市スポーツ協会の健全な運営と同協会に加盟する各団体が実施する各種事業に対して支援を行い、生涯スポーツの推進を行いました。 競技の多様化により、市民スポーツ大会等、参加者が減少傾向にある種目もあることから、参加しやすい競技を組み入れる等、大会の在り方について協会や関係団体と連携を図りました。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

(3)	スポーツ推進委員協議会の育成	スポーツ課	<p>福井市スポーツ推進委員相互の連絡を密にし、ライフステージに応じて楽しみながら運動やスポーツに参加できる機会が増えるよう、福井市スポーツ推進委員協議会に支援を行いました。</p> <p>この支援により、スポーツ推進委員の資質向上と地区住民と行政とのパイプ役としての機能強化を図ることで、市民の心身両面にわたる健康の保持増進を図りました。</p> <p>スポーツ推進委員の活動を認知してもらえよう、活動状況を公民館に掲示したりHPに掲載したりして、広く情報発信を行いました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(4)	市民のスポーツへの関心の向上	スポーツ課	<p>平成30年度の第73回国民体育大会及び第18回全国障害者スポーツ大会開催による福井市スポーツ協会加盟団体やスポーツ推進委員等との連携強化や、大会に向けた機運醸成といった成功体験を活かし、今後も、各種イベント等におけるPR活動を通して、スポーツに対する関心を維持し、さらに高めていけるよう努めていきます。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(5)	障がい者スポーツの普及・推進	スポーツ課	<p>障がい者スポーツの普及拡大に向け、関係団体と連携したスポーツ機会の提供やだれもが安心してスポーツができるよう体育施設のバリアフリー化を進めるなど、障がいのある人がスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(6)	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致の推進	スポーツ課	<p>令和3年度に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会における事前キャンプの誘致を推進することで、市民のスポーツに対する関心をさらに高めます。合わせて、スポーツ推進を図るとともに、世界に向けて福井市の情報発信を行いました。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	1	文化芸術活動の支援
具体的な取組	(1) 文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出	
	(2) 市民の美術創作活動への意欲向上	

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出	文化振興課	福井市民文化祭については、田原町商店街と連携したスタンプラリーや体験コーナーは前年の参加者数を超えましたが、文化祭全体では目標を達成することができませんでした。 来年度は、スタンプラリーや体験コーナーの一層の充実を図るとともに、広報の強化に努め目標の達成に努めます。	(基)市民文化祭参加者数	目標	7,100人	7,150人	7,200人	7,300人
				基準値(H27)：7,058人	実績	6,356人	5,558人	5,216人	-
					達成度	89.5%	77.7%	72.4%	-
(2)	市民の美術創作活動への意欲向上	美術館	市美展ふくいでは、部門に縛られない小さな作品展が人気であり、また審査員によるギャラリートークを毎日開催しました。	(基)市美展ふくい出品点数	目標	500点	510点	520点	540点
				基準値(H27)：485点	実績	387点	364点	333点	-
					達成度	77.4%	71.4%	64.1%	-

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	2	文化芸術の振興
具体的な取組	(1)	文化芸術活動の担い手の育成
	(2)	文化会館の管理運営と再整備の検討
	(3)	美術館の展示内容の充実と魅力向上
	(4)	美術創作体験ができる機会の提供

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
						H29	H30	R1	R3
(1)	文化芸術活動の担い手の育成	文化振興課	さまざまな事業の企画・運営を行う NPO法人 福井芸術・文化フォーラムを支援することにより、本市の文化振興を図っています。福井芸術・文化フォーラムは文化芸術に関する高い専門知識を有しており、良質な文化芸術事業を効果的に企画・実施し、市民が、より身近に文化芸術に触れる機会を創出しています。	(基)福井芸術・文化フォーラム開催事業参加者数 基準値(H27)：3,063人	目標	3,100人	3,150人	3,200人	3,300人
					実績	2,798人	2,533人	1,757人	-
					達成度	90.3%	80.4%	54.9%	-
(2)	文化会館の管理運営と再整備の検討	文化振興課	文化会館については老朽化調査を実施した結果、令和2年度末で閉館するとともに、フェニックス・プラザを代替施設とする方針を決定しました。 今後は、文化会館で行われていた行事が、閉館後も滞りなくフェニックス・プラザで実施できるよう準備を進めます。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(3)	美術館の展示内容の充実と魅力向上	美術館	企画展では、デジタルアートによる参加・体感型を始めとする、多彩なジャンルの作品を紹介することで観光誘客を図り、県内外から多くの方が訪れ、目標値を大幅に超える過去最高の入場者数となりました。関連イベントとして作品解説会や対談会を開催したほか、展示作品の人気投票や学芸員のおススメ作品のポップ掲示、また市内文化施設と連携したスタンプラリー等も行い、好評を得ました。	(基)美術館企画展入場者数 基準値(H27)：19,388人	目標	63,000人	64,000人	65,000人	67,000人
					実績	22,410人	46,314人	81,659人	-
					達成度	35.6%	72.4%	125.6%	-
(4)	美術創作体験ができる機会の提供	美術館	アトリエでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月開催の子どもアトリエ「チョコのパレット」と福井大学との連携事業である「子ども美術館」を中止しましたが、そのほかの活動については、計画通り実施できました。	(基)美術館アトリエ参加者数 基準値(H27)：5,127人	目標	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
					実績	10,066人	14,902人	33,044人	-
					達成度	100.6%	149.0%	330.4%	-

方針	10	郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する
施策の方向性	1	福井が誇る歴史・文化資源の活用推進
具体的な取組	(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用
	(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用
	(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用
	(4)	橘曙覧記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の活用
	(5)	歴史・文化資源の情報発信

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）			基本計画 達成目標	
				評価項目	H29	H30	R1	R3	
(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用	文化振興課	特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画を策定しました。遺跡の保存管理としては、復原町並の防災棟屋根や消防設備等を修繕しました。また、御所・安養寺跡の説明板を更新しました。今後も遺跡を後世まで保存するため、適切に維持管理していきます。	(基)一乗谷朝倉氏遺跡復原町並入場者数 基準値(H27)：147,692人	目標	140,000人	140,000人	140,000人	150,000人
				実績	104,135人	93,318人	131,053人	-	
				達成度	74.4%	66.7%	93.6%	-	
(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用	文化振興課	毎年秋に、ライトアップを実施しています。令和元年度は天候の影響もあり来園者数は減少しました。今後は関連イベントを実施し、誘客につなげます。また、抹茶碗作りのイベントは、参加者には好評でしたが、申込数が少なかったため、新たなイベントの開催を検討していきます。	(基)養浩館庭園入園者数 基準値(H27)：75,500人	目標	73,500人	73,750人	74,000人	74,500人
				実績	61,133人	62,981人	57,311人	-	
				達成度	83.2%	85.4%	77.4%	-	
(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	福井市内市外問わず寄贈・寄託の申し出のあった資料について、資料審査委員会を経て受入れを行いました。また貴重な文化遺産を未来へ伝えるため、資料の修繕や古文書の資料化を実施し、館蔵品資料の充実を図りました。	(基)郷土歴史博物館収集資料数 基準値(H27)：40,555点	目標	40,700点	41,000点	41,200点	41,000点
				実績	40,984点	41,048点	41,208点	-	
				達成度	100.7%	100.1%	100.0%	-	
(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	夏の特別陳列を2つのテーマで開催したり、パネル展示や学芸員講座を行うなど来館者の確保に努め好評を得ましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ロビー利用や明治150周年関連行事等の終了による減少分を挽回するには及びませんでした。	(基)郷土歴史博物館総入館者数 基準値(H27)：78,021人	目標	79,500人	79,600人	85,000人	80,000人
				実績	72,227人	84,810人	61,160人	-	
				達成度	90.9%	106.5%	72.0%	-	

(4)	橘曙覧記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の活用	文化振興課	愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館の入館者数はほぼ一定となっていますが、グリフィス記念館の入館者数が大きく減少しています。今後は3館合同イベント、民間団体と連携したイベントを強化し、館の魅力向上に努めていきます。	(基)愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館来館者の延べ人数 基準値(H27)：29,313人	目標	37,000人	37,250人	37,500人	38,000人
					実績	34,961人	31,984人	26,869人	-
					達成度	94.5%	85.9%	71.7%	-
(5)	歴史・文化資源の情報発信	文化振興課	地域に埋もれている特色ある歴史・文化財等を観光資源として活用するモニターツアーを実施しました。また、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町と連携し、圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するため、お城にスポットをあてた文化資源パンフレットを発行しました。 今後も文化資源を活用し観光誘客や交流人口の増加を図るなど、文化芸術の振興に取り組みます。	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-

方針	10	郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する
施策の方向性	2	文化財の保護と活用
具体的な取組	(1)	文化財の保護と整備
	(2)	文化財の保存と継承
	(3)	文化財の公開・活用

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
				評価項目		H29	H30	R1	R3
(1)	文化財の保護 と整備	文化財 保護課	<p>大安寺（国指定重要文化財）が実施する建造物修理事業は、本格的な本堂の修理工事に向けて素屋根が完成しました。</p> <p>また、国選定の重要文化的景観を目指し、越前町、南越前町とともに取り組んできた「越前海岸の水仙畑と農村景観保存活用計画」の策定が完了しました。今後も貴重な文化遺産を保護し、後世に受け継がれるよう所有者や関係機関と連携を図りながら、計画的に整備等を進めていきます。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-
(2)	文化財の保存 と継承	文化財 保護課	<p>市内の指定文化財は、新たに市指定天然記念物2件指定されたことより計186件となりました。</p> <p>指定無形民俗文化財の行事は、予定通り8件開催されました。今後も後継者育成に係る事業等に対して、支援していきます。</p> <p>また、修理等が必要な指定文化財については、今後も計画的に修繕・補修等を進め、地域の貴重な文化財の保存に努めるとともに、個人・団体等が所有する指定文化財の公開・活用についても所有者、専門家と協議を重ねながら取り組んでいきます。</p>	<p>(基)無形民俗文化財 各種行事の開催件数</p> <p>基準値(H27)：7件</p>	目標	7件	7件	8件	7件
					実績	7件	8件	8件	-
					達成度	100.0%	114.3%	100.0%	-

(3)	文化財の公開・活用	文化財保護課	<p>文化財保護センター及びおさごえ民家園で開催した体験学習会の参加者数は、目標を達成することができました。文化財保護センターで夏休み期間中を中心に実施した土器づくり・勾玉づくりなど、出前事業の増加によるものです。</p> <p>おさごえ民家園の入園者数は、目標数を達成できませんでしたでしたが、婚礼前撮り等の撮影会や講演会等による施設使用件数が増加したことにより、昨年度数値を上回りました。</p> <p>今後も施設の魅力を高めて、利活用についての情報発信に努め、文化財への愛着と理解を深めます。</p>	(基)体験学習会参加者数 基準値(H27)：1,181人	目標	1,600人	1,950人	2,250人	2,000人
					実績	1,732人	2,174人	3,103人	-
					達成度	108.3%	111.5%	137.9%	-
				(基)おさごえ民家園入園者数 基準値(H27)：8,359人	目標	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
					実績	9,496人	7,856人	7,973人	-
					達成度	95.0%	78.6%	79.7%	-

6 学識経験者の知見

「令和元年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」についての所見

福井大学教職大学院客員教授 寺岡英男

1. 本報告書に対する外部の所見の反映

特に事務の管理及び執行状況の評価と施策の展開に関わってー

「平成 29 年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」についての所見を有識者として述べた柳沢昌一氏は、所見として行政評価の在り方について課題を提起している（以下「柳沢所見」と略す）。その中身は、わかりやすい評価指標・方法への要請と複雑で長期的な政策プロセスとの間には大きなギャップがあり、数値化しやすい項目による評価と査定が強化されればされるほど、その実際の取組の有効性と乖離した指標による評価が、バランスの取れた有効な政策・施策の展開を制約する要因として働いていくことになる。組織評価においては評価指標の数値化が求められているが、数値化しやすい項目中心の評価が進められていくことになってしまう。公的組織の場合には、とりわけ説明責任という重要で根本的な問題があり、より政策・施策の発展に資する評価の在り方の探究を重ねていくことが求められる、というものである。

私も柳沢氏が指摘するように、そうした歪みが現実のものとして進行している国立大学法人の評価に関わった者として、柳沢所見には当事者であった者としての自己批判と併せて全面的に賛成するものである。

したがって、今回の報告書に対する私の所見の第一のポイントは、平成 29 年度の報告書で述べられた柳沢所見が、令和元年の本報告書の点検・評価においてどのように反映され、改善されているかという点である。

結論から言えば、一部数値化された評価は残るものの、数値化しやすい項目中心の評価は改められていると言える。ただ、柳沢所見で関連して提案されている、各部門の果たすべき役割・目的に即して、どのように中期的な施策が展開され、その中で本取組がどのように進められたのか、その展開を評価する、というところまでには残念ながら至っていない。今後政策・施策の発展に資する評価の在り方をいっそう探究することが求められる。

この最後の点に関連して、今後配慮すべき評価の枠組みについて具体例を挙げておきたい。旧学習指導要領は、それまで法的拘束力を持つ文書という性格のものであったが、平成 29 年度改訂学習指導要領は、「地域や子供の実態に応じた教育課程」と言われるよ

うに性格が変わってきている。これは例えば標準時数の扱いなどに直接関わる。こうした学習指導要領での教育課程編成、カリキュラムづくりの扱いについて、教育委員会としてどう施策を展開し、具体的に各学校において地域や子供の実態に応じた自前の教育課程、教育活動がどう展開されるようになったのかについて触れる枠組みを設けることは必要な課題であると思われる。これは、現実コロナ禍での「一斉休業」の再開後の単なる「取り返し」に終わらない、子どもたちの実態に応じた教育課程編成について、教育委員会がどのような方針を出し、各学校が具体的に自前でどう進めたかの点検と評価に現れてくる問題である。今回の本報告書の対象とする時期は令和元年度であるため、このコロナ禍での問題は主に扱われないが、次の報告書での扱いでは不可欠の課題になるとと思われる。

2. 各種審議会等審議状況の記述について

この審議状況の記述の仕方については、審議会ごとに主に会の議題を列挙した程度に止まっていて、公表される情報としてはほとんど意味を持たないと思われる。そのあとの「事務の管理及び執行状況」で記述されている「事業の主な取組内容と成果・課題」と対応させれば、まだ内容はわかるかも知れないが、それと審議会で出された意見・討議内容とは必ずしも同じではない。審議会等審議状況の報告においても、議題の列挙に終わらせず、主に出された意見や討議内容については情報として示されるべきである。

3. 「事務の管理及び執行の状況の評価と施策の展開」に関する「働き方改革」の観点からの捉え方について

この種の報告書のもつ意味を考えると、国とりわけ文科省が進めている「働き方改革」については、これまでの報告書の体裁・枠組みに加えて関連して扱われても良いのではないと思われる。「働き方改革」は、労働者の長時間労働等の是正を求めるものであり、特に教員の実態調査をふまえて、2017年には中教審が「学校における働き方改革に関する中間まとめ」を出した。その中で中教審は、まず「教員は本来、自律的に働く専門職です」とし、「教職員間で業務のあり方、見直しについて話し合う機会を設けることが有効である」と述べ、さらに「国や地方公共団体は「学校における働き方改革の後押し」する必要があると述べている。2019年の本答申「学校における働き方改革に関する総合的な方策について」で中教審は、「今後、学校における働き方改革を確実に進めるためには、教師一人一人や学校の取組も重要だが、何よりも文部科学省及び都道府県教育委員会、市区町村教育委員会が今以上に本気で取り組むことが必要である」と述べている。

中教審答申で述べている教職員はもとより、他の社会教育や文化財保護等の事業に係

る施設の職員についても専門職性が求められている。中教審答申が言うように教育委員会は働き方改革に「本気で取り組む」ことが求められているが、その意味では本報告においてもその観点からの点検と評価が必要であると思われる。

これに関連していえば、例えば福井市図書館における司書の人事では、図書館以外の部署への異動がなされてきていることも聞いている。図書館職員に限らず、それぞれの施設における専門職としての職員の果たす役割は再確認されているところであり、専門的な力量形成の機会の保障、経営企画マネジメント、地域連携コーディネーター等の職務において活躍できるような行政としての組織マネジメントが求められる。

令和元年度福井市教育委員会事務に関する点検・評価報告書についての所見

福井市 PTA 連合会 会長 後藤 正邦

「令和元年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」について、福井市 PTA 連合会（以下、「市 P 連」という。）の会長の立場から、所見を申し上げます。

なお、以下、項目の番号は、「5 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行」の方針・施策の方向性・具体的な取組（施策番号）に沿っている。

1-1-(2)について

家庭・地域・学校協議会は、福井型コミュニティ・スクールの核となる協議会と考えている。これについては、市内各小中学校において、毎年、着実に開催を重ねてきていることは承知している。

それゆえに、単に開催回数や、一定の開催回数を達成した学校数・割合などを数値目標とすることは、適当ではない段階に入ったと考える。

むしろ、着実に実績を重ねてきたことに鑑みて、コミュニティ・スクールの制度の趣旨をどれだけ具現化できているかという実質面に踏み込んで、その成果を検証する段階に入ってきていると考える。学校からの一方通行の実施になっていないか、家庭・地域・学校のそれぞれの立場から踏み込んだ意見・情報交換に及んだかどうかといったことを、参加者の視点から検証できるような方向性を検討していただきたい。

1-1-(5)について

学校規模適正化の問題については、検討委員会での検討、協議を終えて、令和 2 年度に入ってからとなったが、答申が提出された。

しかし、この問題はまだ緒に就いたばかりであるので、今後の取り組みこそが重要となる。

上記検討委員会は、学校教育の観点に絞って検討をしたが、実際は、前記の家庭・地域・学校協議会の重要性からも明らかなおり、地域（地区）のあり方そのものとの関係性も極めて重要なところである。

今後は、教育委員会所管に限定せず、一般行政の観点からも検討を進めて頂きたい。

成果・目標などの再構築も必要となるものと思われる。

1-2-(3)について

学校図書整備に関しては、市P連あるいは各学校のPTAも関心を持って、協力しているところである。今後も連携を図りながら、学校図書の充実を進めたい。

ただし、いわゆる学習漫画ばかりが増加しているのではないかという問題意識もあるところである。

漫画は望ましくないというような意見を述べるつもりは毛頭無いが、学力や関心に応じて、漫画以外の図書への関心や読解力を高めるような取り組みを進めて頂ければ幸いである。

1-3-(4)について

国際交流作品展は、小中学生の芸術・文化体験になるだけではなく、国内外との友好親善につながる重要な事業である。

小中学生とその保護者らが多いと思われるが、多数の福井市民が参観しているという点においても、極めて意義深い。

今後は、平成27年度と同等の開催日数の達成で良しとせず、開催日数の増加、特に土日や祝日となるべく多く含んだ開催のあり方などを、一層模索して頂きたい。

1-5-(4)について

子ども一人一人の個性等の尊重が叫ばれ、また発達障害等に対する研究や理解が進んできた今、特別支援教育は、まさに毎年毎年重要性を増してきている分野だと考える。

外部機関との連携や、研修等が実施されていることは理解したが、その具体的な内容や獲得された成果等について、何らかの形で可視化できるような方策を検討頂きたい。

1-7-(1)について

小学校英語活動の推進について目標をわずかに達成できなかったことは残念ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策のためという事情ゆえにやむを得ないものと思われる。

今後は、ALTの派遣回数だけではなく、内容面にも一層着目して頂きたい。

各小学校区の特徴的な史跡や施設、文化・風習などを英語で紹介するような取り組みを進めることで、実際に福井に訪れる外国人へ、自分たちの文物を紹介できるのだという実感、すなわち英語学習へのやりがいと、将来的にはまちづくりにおける具体的な成果につながる。

胸を張って、英語で福井の説明をすることができる子どもが増えることは、それぞれの子ども達の成長はもちろん、福井市の明るい未来へ直結するものだと考える。

1-10-(1)及び(2)について

福井市内におけるキャリア教育の実践は、顕著に実績を伸ばしてきている。

福井市キャリア教育プログラムは、そのための大事な仕掛けとして機能しているが、学校の現場においては、まだ残念ながらこのプログラムを活用しきっていないと言いき難い状況のようである。今後も一層この普及に力を入れて頂きたい。

キャリア教育は、単に子どもへの教育という側面だけではなく、地域・企業がこれに関わることで市民参加型の地域づくりになるものでもある。

いかに多くの地域人・企業（社会人）が学校と連携していけるかが重要な鍵であり、10年後、20年後の福井市の姿は、今の時点において行っているキャリア教育が種となるものである。

その観点では、地域や企業と学校が連携した取組についても、成果判定ができるような仕組みの検討が急がれるのではないかと考える。

2-1-(1)及び(2)について

ふるさと教育の重要性は今さら語るまでも無いが、副読本「ふるさと福井の人々」の活用も含め、実施することそのものが目的化している感が無いわけでもない。

福井の子ども達が、真にふるさとを知り、誇ることができているかということ、そこは心もとないところである。それが例えば同じように幕末に活躍した鹿児島市や萩市などとの違いであり、同じように戦国の逸話を誇る甲府市や上越市との違いのように思われる。

立志式で取り上げる橋本左内をはじめ、多くの財産が福井市にはある。

高校を卒業して県外に出て行った福井の子ども達が、橋本左内について誇らしくとうとうと説明できる日が当たり前になるよう、学校外の人的資源も活用して、ふるさと教育を一層進めて頂きたい。

3-2 について

食育や保健という観点からは大きく外れるが、安全教育という点において、交通安全教育に関する取組・成果判定が見えないのが残念である。

例えば、福井は、後部座席のシートベルトやチャイルドシートの装着・使用について、（調査年度によって若干の例外はあるものの）全国的に見ても非常に低い水準にある。

小学生以上になれば、シートベルトの必要性や装着方法などは、自ら理解し、実践することができる。

本来こうしたことは家庭教育が担うべき事項だということは重々承知しているが、保護者を通じた徹底には難しさがあることもご理解頂き、学校教育においてもこの

点の指導を強く進めて頂きたい。その意味では、具体的な取組として取り上げることが是非検討頂きたい。

なお、市P連としてはこの問題に正面から取り組む必要を認識しているところであり、具体的な運動として展開していきたいと考えている。福井市及び福井市教育委員会には、この点においても是非協力・連携をお願いしたい。

3-4-(3)について

運動部活動の充実に取り組むこととされているが、実際は、教員の働き方改革の影響を受け、このところ急激に反対方向に振れてきているものと見ている。

行き過ぎた部活動が否定されるべきであることは当然であるが、保護者や中学生の視点からすれば、もっと部活動に積極的に取り組みたいという意見は少なくないのではないかと思われる。

教員の働き方改革への理解も以前に比べれば進んでいるし、地域クラブ化などの方向性についても理解できるところではある。

しかし、例えば地域クラブへの転換などの施策が両輪として進められるべきところ、これが全く進んでいないのにも関わらず、部活動の削減ばかりが進められているように保護者らからは見えている。

トップアスリートを招聘して行う講習会も良いが、日常の部活動のあり方について、もっと保護者や中学生自身の思いに耳を傾けて頂きたいし、少なくともその理解を得られるような方策を望むところである。

また、大規模校と小規模校で、設けられる部活動にあまりに差があり過ぎるのは、現状の問題点である。

正副顧問となる教員の配置などの問題があることはもとより承知しているが、ならばこそ、学校の枠を超えた部活動の編成なども積極的に検討し、取り組んで頂きたい。

4-1-(3)について

新型コロナウイルス感染防止のための影響を受けたことはまことに残念なところである。

福井市及びその近郊には、まさに自然科学分野において先端的な事業展開・技術開発をしている企業が少なくない。

キャリア教育のところでも触れたように、こうした企業を知り、自然科学に高い関心を持って学ぶ子ども達を多く育てることは、福井市の未来をつくる活動そのものである。

落ち込んだ実績の回復を図ることにとどまらず、この事業をもっと大きく育てることを期待したい。

5-1-(1)について

学校の大規模改修事業は、そもそも将来においてどこにどのような学校が置かれる必要があるかという学校規模適正化の問題にも密接に関連する問題である。

数値目標の達成度を軽視するわけではないが、上記の観点からの検討・計画状況が大変見えにくいのが、現在の問題であると思われる。

今後は、その点に関する利害関係者（地域住民）との対話を重視するとともに、どの学校がいつ改修される（べきな）のかという点についての検討・議論状況を可視化して頂きたい。

5-2について

交通安全について、環境整備が重要であることは論を俟たないが、前述の通り、交通安全教育も合わせて具体的取組として進めて頂きたい。

なお、通学路の安全確保、例えば照明灯設置について、設置基準を満たす要望に占める設置割合について高い水準で推移しているようであるが、郊外（農村・中山間地域）の保護者の声に耳を傾けると、実感としてはなかなか要望が通らない、あるいは危険な箇所の改善が進んでいないようである。

こうした声を代表する市P連としては、今後一層、現場の状況に直接目を向けて頂くことを期待したい。

6-2-(2)について

ある調査によれば、福井県におけるフィルタリングの利用は、非常に低い水準にとどまっているとのことである。

市P連としても関心を持って主体的に取り組むべき問題だと考えるので、是非連携して、一層の対策を進めていきたい。

7-1-(3)について

家庭教育事業については市P連も取り組んでいるところであるが、同時に難しさも感じるところである。それだけ「親学」には困難があるということである。

それを公民館において実施して頂けるのは大変ありがたいことであるが、一方、PTAによる実施以上に、参加を得ることや成果を上げることには困難があるのではないかと推察する。

こうした事業についても、市P連や各学校PTAとの共同での取組を進めて頂くことには、大きな意義があるものと思われる（PTA側にもメリットがある。）

今後は市P連や各学校PTAと、一層連携をはかり、事業に取り組んで頂きたい。

7-1-(4)について

青年教育事業についても、その重要性については全く首肯するしか無いが、地区によっては、公民館の事業として行うことには困難があるものと推察する。

20歳や18歳という節目の年をとらえた青年教育事業には、大きな可能性と使命がある。市教委がしっかりとサポートし、こうした節目の年の青年教育事業の実施を根付かせていただきたい。

7-1-(8)について

家庭・学校と地域の連携の強化については、すでに1-1-(2)に対する所見として述べたところであるので、ここではそれを引用する。

7-2-(1)について

公民館の整備について、順化小学校と順化公民館の整備事業は、今後の福井市における教育施設整備の素晴らしい前例になったものと評価している。

学校規模適正化の問題と並行して検討し、学校と公民館の集約・改修なども、今後一層積極的に検討していくべきである。

7-5-(3)について

小学生は、移動図書館のことを大変楽しみにしているようである。

学校にある図書以外に、読書の世界が広がりを持つことは、保護者としても大変ありがたいものであり、高く評価している。

この事業の一層の活性化のためにも、移動図書館の実績については、今後数値目標を設定することも有用ではないかと考える。

9-2-(1)及び(2)について

福井市文化会館の閉館は残念ながらやむを得ないことと了解している。

問題は今後の方向性が見えないことである。

フェニックスプラザ自体はもちろん素晴らしい施設だが、小中学校関係行事や市民の芸術活動において活用しやすい施設かという点、疑問が無いわけではない。

文化とはその都市の精神的な満足度につながるだけでなく、活用方法如何によっては経済的価値も生み出すものだと思われる。

市民や小中学生の表現の場を創造するという視点から、フェニックスプラザの利便性を高めることはもちろん、文化会館の後継施設についての議論を進めていただきたい。

10-1-(4)について

グリフィス記念館は、ふるさと教育だけではなく、歴史・自然科学等の教育に活用できる可能性を持った施設であり、さらに、国際教育・国際交流事業において活用すべき施設である。

その観点では、まだまだこの施設の持つ可能性を活かしきれていないように思われる。さらなる活用を期待したい。

総括（福井市教育委員会の活動状況についての所見を含め）

全般に見て、福井市教育委員会の事務は非常に積極的かつ有効に推し進められており、また現に高い水準を達成しているものと評価し、心から感謝する次第である。福井市教育委員会の活動状況についても、概ね問題無く運営されているものと拝察する。

しかし、個別に見ていくと、数値目標の要否や、その目標の具体的な立て方、あるいはその成果に対する評価の視点など、再考や改善を要すると思われるところも散見される。

また、内閣総理大臣による要請を受けて小中学校の臨時休業が決定されるにあたり、教育委員会が開催されなかったこと（教育委員の意見聴取もされなかったこと）や市 P 連への意見聴取が無かったことは残念であった。これだけの重大事項の決定にあたっては、教育委員や市 P 連などの意見を聴く過程があっても良かったのではないか。なお、福井市小中学校の臨時休業の判断は、設置者、すなわち福井市が行うべきものであり、教育委員会ではないとの指摘もあろうが、学校に対して最も深い関係性を持つのは上記関係者であるし、臨時休業についての告知が教育長名で行われたことも、そのような学校教育関係者のことを考慮してのことであったと推察している。そうであれば、やはり意見だけでも聴く過程があるべきだったと考えるところである。

こうした点が改善され、福井市教育委員会の事務が、多様な意見や価値観の中で広く理解と共感を得ながら、さらに発展することを、心から期待したい。

そして、市 P 連はそのために協力できることは是非とも一緒に取り組んでいきたいと考えているので、市 P 連のことももっと活用して頂けたら幸いである。